

## 取扱説明書

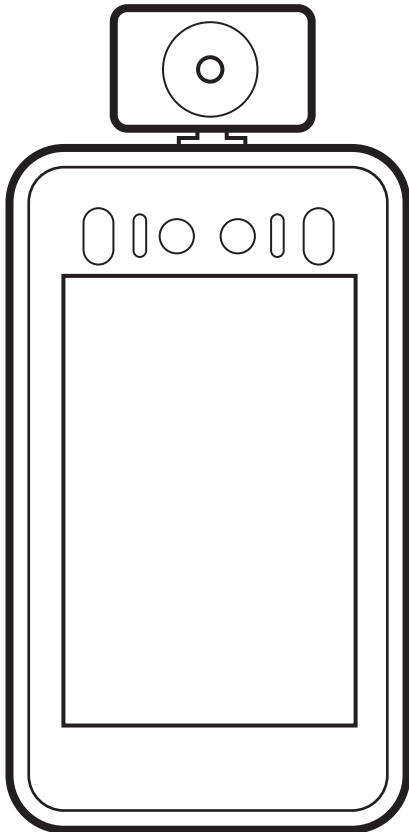
《設置・接続説明書兼用》

## 顔認証機能付きサーモセンサーシステム

**業務用**

品番 CTS-NY8R **ラックマウント**

CTS-NY8W **ウォールマウント**



### CONTENTS

	ページ
もくじ	2
設置・接続編	17~37
設定・運用編	39~64

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また本書は保証書も兼ねています。必ず、お買い上げ日・お客様名・販売店名などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

**保証書付**  
(裏表紙)

**日本国内専用**  
Use only in Japan

# この取扱説明書について

- \*この取扱説明書《設置・接続説明書兼用》(本書)は、本製品「CTS-NY8R(ラックマウント) / CTS-NY8W(ウォールマウント)」を正しく、安全に使用・設置・接続していただくための内容を記載しています。
- \*スタンドなどの別売品、設置・接続する外部装置 / 機器 / 設備、アプリケーション / ファームウェアアップデートツールなどのソフトウェアについての操作・設置・接続方法やその際の注意事項は記載していません。それぞれの取扱説明書をお読みのうえ、正しく操作・設置・接続を行ってください。
- \*本書内の表示画面・イラストは説明上の参考データであり、実際の製品や表示画面と異なる場合があります。
- \*本書には保証書(裏表紙)が付属しています。販売業者の方は、設置・接続が終わったら使用者の方へお渡しください。

## もくじ

はじめに	3~4
<b>安全上のご注意</b>	<b>5~6</b>
使用上のお願い	7
本製品の概要	8~11
各部のなまえ	12~15
別売品について	16

### **設置・接続編 17~37**

<b>安全上のご注意</b>	<b>18~19</b>
設置上のお願い	20
設置する	21~37
・ 設置の流れ	21
・ 装置、設備に「直接」取り付ける場合	22~23
・ 別売の「スタンド」などに取り付ける場合	24~27
・ 付属の壁掛け金具セットを使用して「壁」などに取り付ける場合	28~29
配線・接続する	30~35
・ インターフェースコネクタの種類	30
・ インターフェースコネクタの接続のしかた	31
・ インターフェースコネクタの機能と説明	32~35
起動・動作確認	36~37

### **設定・運用編 39~64**

使いかた	40
・ 検知・認証のしかた	40
設定する	41~64
・ 設置の流れ	41
・ 設定項目一覧	42
・ システムの管理	43~48
・ 映像と音声	49~50
・ ディスプレイ	50~53
・ 警報	53~55
・ ネットワーク	56~57
・ ストレージ	57
・ インテリジェント分析	58~64
表示・音声アナウンス一覧	65
故障かな?と思ったとき	66~67
お手入れのしかた	68
仕様	69
保証とアフターサービス	70
お客さまご相談窓口	71
保証書	裏表紙

# はじめに

## 免責事項について

- 本製品および付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負わないものとします。
  - 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
    - ・ 本製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
    - ・ お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
    - ・ お客様による本製品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
    - ・ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用できないことで被る不便・損害・被害
    - ・ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
    - ・ お客様を特定できる情報（映像・記録など）が何らかの理由により公となり、使用され、その結果生じた、被写体となった個人・団体などによるプライバシー侵害などを理由とする賠償請求、クレームなど
    - ・ 本製品・ソフトウェアおよび関連データの盗難、紛失などによる被害または関連して発生した被害
    - ・ 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本製品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと
  - 本製品は、ネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。弊社はこのような被害、または関連して発生した被害に関して一切の責任を負わないものとします。
    - ・ 本製品を経由した情報の漏えいや流出
    - ・ 悪意を持った第三者による本製品の不正操作
    - ・ 悪意を持った第三者による本製品の妨害や停止
  - 本製品の修理・交換・点検などを行う場合、本製品とともに保存・記録データを外部へ持ち出すこと、あるいは持ち出しにより生じた一切の責任を負わないものとします。
    - ※ 本製品に保存または記録された個人情報を含むデータは、本製品内蔵の記憶装置に保存されます。そのため、本製品の修理・交換などを行う際、本製品とともにデータが持ち出される場合が考えられますので、あらかじめすべての保存・記録データを削除してください。
- ※ 本書の内容については、改良のため予告なしに変更する場合があります。

## はじめに(つづき)

### 著作権について

- 取扱説明書（本書）の著作権は、アクア株式会社にあり、アクア株式会社に許可無く、取扱説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。
- 本製品に組み込まれたソフトウェア（イメージやテキスト、画像、音声、アニメーションなどを含みこれらに限定されないソフトウェアの構成部分全て）および付属書類に関する知的財産権は、当社またはそのライセンサーに帰属するものであり、著作権法の規定によって保護されています。

はじめに

### 個人情報の保護について

- 本製品を使用したシステムで撮影・記録された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、情報を適正にお取り扱いください。

### 設置・運用にあたっての注意事項



- 本製品は、内蔵カメラにより撮影された画像を直接またはネットワークを介して他の機器へ転送・記録し、閲覧できる機能を搭載しています。本製品を設置する際は、設置場所や周囲の環境、映り込む画像などの適正を確認し、プライバシーの保護に配慮した設置、運用を行ってください。



# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

- 表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）
- 図記号の説明

	<b>警告</b>	「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
	<b>注意</b>	「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。








	図記号の中の絵や近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。
	図記号の中の絵や近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

安全上のご注意

## 使用するとき

### 警告

	<b>禁止</b>	●本製品の設置・電気工事・配線工事・点検は必ず専門の業者に依頼する (感電・ショートによる火災、器物損壊の原因)
	<b>禁止</b>	●本体のすき間や穴に異物を入れない (故障・火災・感電の原因)
	<b>禁止</b>	●可燃性ガスや腐食性ガスが発生する場所などに設置、使用しない (爆発や取付部が劣化し、落下によるけが・事故の原因)
	<b>禁止</b>	●本製品に、火気や引火性のものを近づけない (故障・火災の原因)
	<b>禁止</b>	●ガラス面を傷つけたり叩いたりしない (ガラスが割れて、けが・故障の原因)
	<b>指示</b>	●ACアダプターを抜く時は、電源コードを持たずに必ず、ACアダプターを持って引き抜く (感電やショートによる発火の原因)
	<b>指示</b>	●本製品は屋内に設置し、屋内で使用する (感電・故障の原因となります。)

	<b>禁止</b>	●本製品を落とさない、強い衝撃を与えない (けが・故障の原因)
	<b>分解禁止</b>	●改造はしない。また、修理技術者以外の人、分解したり修理をしない (火災・感電・けがの原因)
	<b>水ぬれ禁止</b>	●本製品を水につけたり、水をかけたりしない (ショート・感電・故障の原因)
	<b>指示</b>	●異常があるときは、放置せずに専門の業者に依頼する (故障・思わぬ事故の原因)
	<b>指示</b>	●電源プラグ、ACアダプターは清潔にする (発火・火災の原因)
	<b>指示</b>	●電源は交流 100V のコンセントを単独で使用する (火災・感電の原因)
	<b>指示</b>	●電源プラグは根元まで確実にさし込む (火災・感電の原因)

# 安全上のご注意(つづき)

## 警告



- 本製品の付属品を他の機器に使用しない  
(故障の原因)

禁止



- 不安定な場所や振動の多い場所に設置しない  
(落下・転倒によるけがや事故の原因)

禁止



- 高温多湿になる場所、水のかかる場所、結露する場所に設置しない  
(感電・漏電火災・事故の原因)

禁止



- 火気の近くに設置しない  
(火災・感電・故障の原因)

禁止



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜きさししない  
(ショート・感電・けがの原因)



禁止

- 電源コードやケーブルを破損させたり、無理な方向に引っ張ったり、加工しない(無理に曲げる・引っ張る・ねじる・重い物を載せる・挟みこむなど)

(電源コードやケーブルがが傷付いて、火災・感電・故障の原因)



禁止

- ACアダプターや電源コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントのさし込みがゆるい場合は使わない

(火災・感電・けが・ショートの原因)



禁止

- ACアダプターは本製品に付属のもの以外を取り付けない

(故障・火災・感電の原因)



禁止

- 蒸気が当たるような場所、ほこりの多い場所に設置しない

(故障の原因)

## 注意



禁止

- シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使用してお手入れをしない

(本製品の故障・劣化の原因)



禁止

- 本製品のパネル部(カメラ・LED・モニター画面・)、体表面温度測定ユニット、体表面温度測定ユニット接続ケーブルに直接触らない

(誤動作・誤検知・故障の原因)



禁止

- 本製品を電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等)の通信回線(公衆無線 LAN を含む)に直接接続しない

本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータなどを經由して接続してください。



指示

- ファームウェアのアップデートは、安定したネットワークに接続された状態で行う

ファームウェアのアップデートを行うと、本製品が自動的に再起動します。ファームウェアのアップデートを行うときは、本製品の再起動により外部装置が誤動作しないことを確認の上、行ってください。  
(ファームウェアのアップデートに失敗し、本製品の故障・誤動作の原因)



指示

- 「Boot Update Tool」を実行するときはウイルス対策ソフトを停止し、ファイアウォールをオフにした状態で実行する

(ファームウェアのアップデートが正常に行われず、本製品の故障・誤動作の原因)



指示

- 本体の角度を調節するとき・設置するときは、隙間に指などを挟み込まないように注意する

(けがの原因)

# 使用上のお願い

- ネットワークを介して設定・管理する場合は、第三者による意図しないアクセスを防止するため、ログインパスワードを設定し、定期的に変更してください。「設定する | ユーザー → パスワード (48ページ)」参照
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する他の機器およびソフトウェアに記録された情報内容は「個人情報」に該当する場合がありますので取り扱いに十分に注意してください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する他の機器およびソフトウェアに記録された情報内容は「個人情報」に該当する場合がありますので取り扱いに十分に注意してください。また、本製品および本製品とともに使用する他の機器、ソフトウェアを廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡す場合には、その取り扱いに十分に注意してください。
- 本製品に保存または記録された個人情報を含むデータは、本製品内蔵の記憶装置に保存されます。そのため、本製品の修理・交換などを行う際、本製品とともにデータが持ち出される場合が考えられますので、あらかじめすべての保存・記録データを削除してください。
- 本製品は医療器具または医療用としてご使用いただけません。
- 本製品は、音声信号を本体スピーカーまたは外部スピーカーへ出力します。設置後は音声・音量によるトラブルにご注意ください。
- 本製品は赤外線を検知して体表面温度を測定します。本製品に熱を発するものを近づけないでください。また、直射日光の当たる場所で使用しないでください。誤検知・誤動作する原因となります。
- 下記のような状態で検知すると、誤検知・誤動作する場合があります。
  - ・ 下を向いたり横を向いたりしている
  - ・ サングラスや帽子をつけている
  - ・ 顔が前髪やひげなどで覆われている
  - ・ 手やハンカチなどで顔を覆っている。
- 体表面温度測定ユニット接続ケーブルを傷つけたり、断線しないようにご注意ください。
- ACアダプターは確実に接続してください。
  - ※本製品に電源スイッチはありません。ACアダプターを接続すると電源が入ります。
- 本製品は、パソコンのウェブブラウザを使用して各種設定を行います。ご使用の環境やウェブブラウザのバージョンなどにより正常に設定・閲覧ができない場合は、ウェブブラウザを変更し、各種設定を行ってください。
  - ※ [Microsoft Edge] [Internet Explorer] などは、一部の機能が正常に設定できない場合があります。本製品の設定は、[Google Chrome] [Firefox] などをご使用ください。



# 本製品の概要

本製品は、顔認証カメラ・体表面温度測定センサーを搭載し、入室時に検温と登録者情報、マスク着用有無を確認します。発熱者、マスク非着用者を検知した場合または未登録者には、体温表示や警報を発信し、入室の可否信号を自動ドアなどへ出力することができます。

本製品は、検知された情報を本体に保存するだけでなく、ネットワーク (LAN) を介し専用のアプリケーション「CMS-9100」に送信することも可能です。

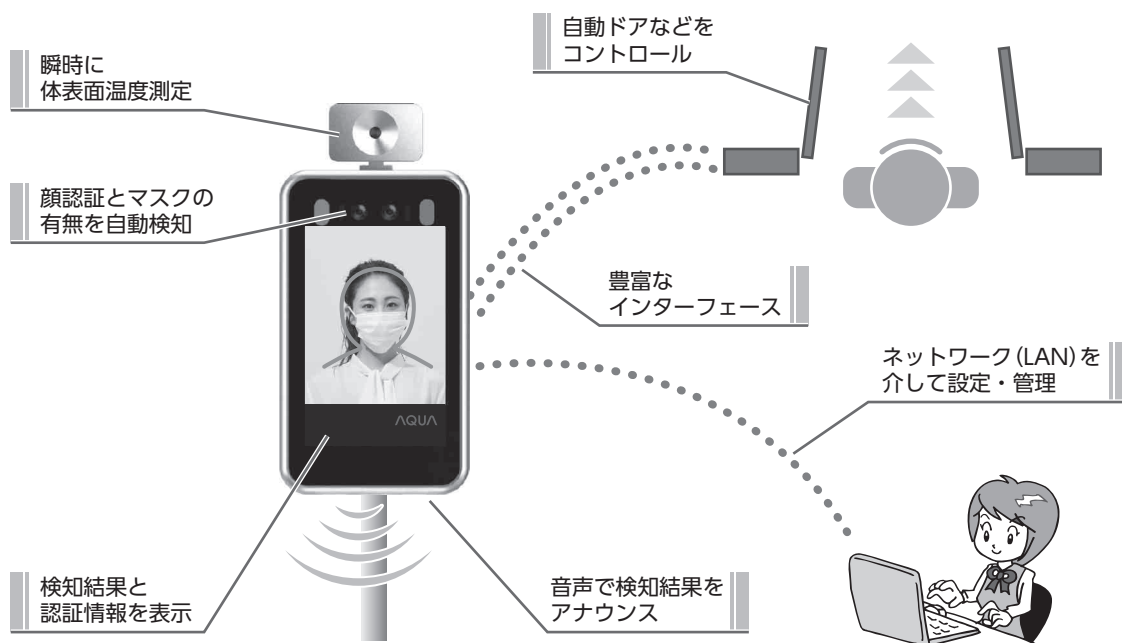
「CMS-9100」を導入することで、多数の端末からの情報を一元管理できます。

※「CMS-9100」は、弊社ホームページからダウンロードしてご使用ください。

\*ソフトウェアダウンロード時の通信費は、お客様負担となります。

## ■ 主な特徴

- 顔認識カメラによる顔認証とマスク着用検知機能
- 体表面温度測定センサーによる体表面温度測定機能
- 被検者へ検知結果や警報をモニター表示と音声でお知らせ機能
- 自動ドアなどへ信号を出力し、被検者の入退室の可否を制御
- 被検者の情報を記録・保存する内部ストレージ機能
- 顔認識カメラにより登録された顔情報をもとに認証・制限・管理
- 認証条件や検知時間などの各種設定をウェブブラウザから設定
- 豊富なインターフェースの装備により、さまざまな外部装置と連動し、動作を制御
- 専用アプリケーション「CMS-9100」を使用して複数台を一元管理

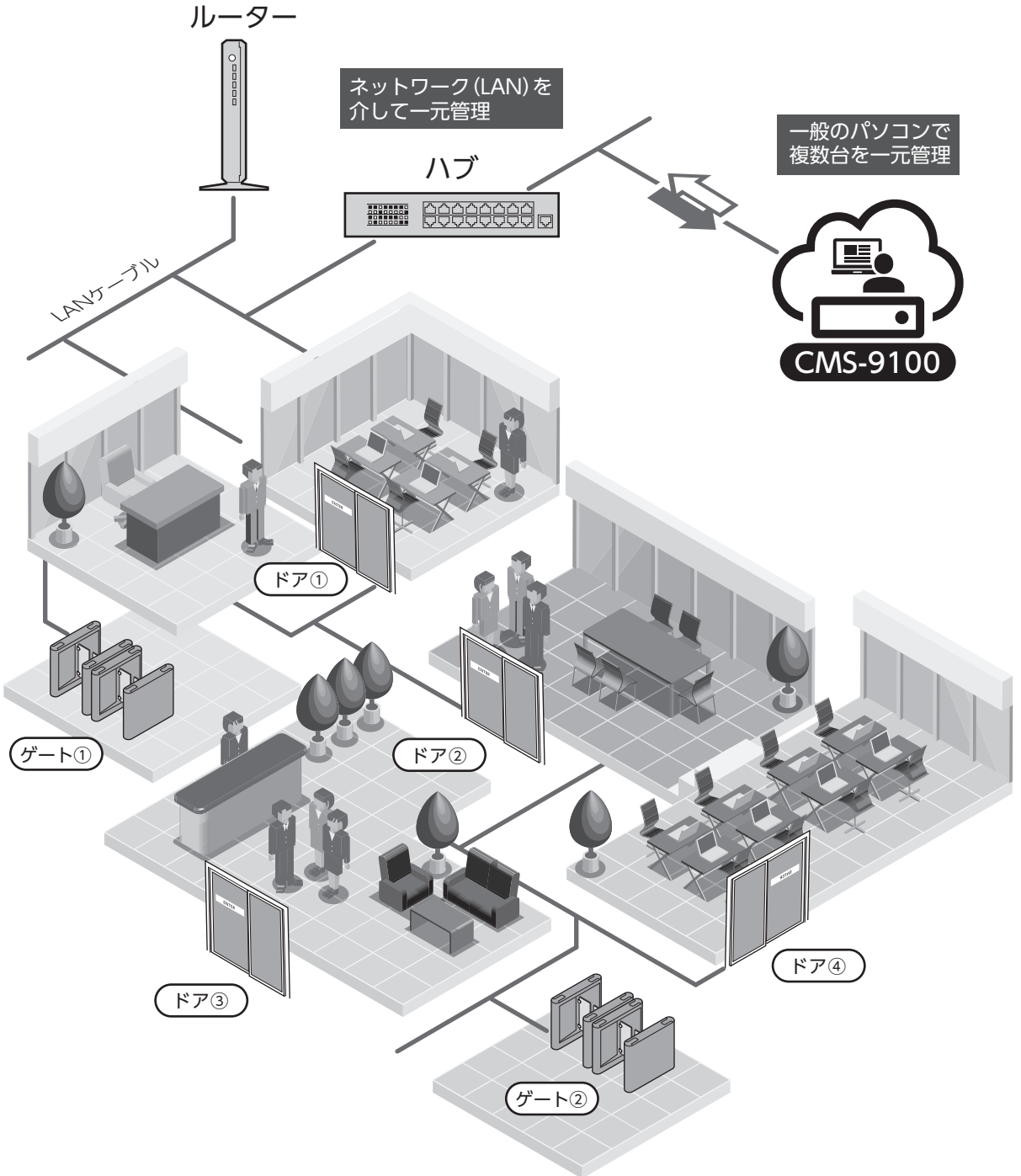




## ■ 「CMS-9100」を使用したネットワーク (LAN) システムの使用例

- ビルや工場、施設内のネットワーク (LAN) に接続された端末 (本製品) から送られる情報を一元管理できます。
  - 端末ごとの情報を包括的に把握することで、より効率よく、認証条件や認証スケジュールを変更・設定できます。
- ※認証条件や認証スケジュールなどの変更・設定は、ウェブブラウザで各端末にログインして行ってください。

☞ 「設定・運用編 | 設定する (41 ページ)」



# 本製品の概要(つづき)

## ■ 設置・導入例

### 特定の人が入り出りする場所

オフィス・会社・工場・研究施設・学校・マンションなど



※イメージ



※イメージ

### 不特定多数の人が入り出りする場所

公共施設・ホテル・ホール・美術館・飲食店・美容院など



※イメージ



※イメージ

※本製品は医療器具または医療用としてご使用いただけません。

## ■ 本製品の検出機構について

本製品は、以下検出機構を装備しています。

### 顔認証機構



登録者と未登録者を判断。  
登録者は、登録者情報と照  
合し個人を特定します。

### 体表面温度測定機構



体表面温度を測定し、表示  
します。













### マスク着用検知機構



マスク着用の有無を検知し、  
表示します。

## ■ 本製品のできること

本製品は、主に以下のことができます。

- |   |   |
|---|---|
| <b>体表面温度測定やマスク着用の有無を監視したい</b><br>● 高温者やマスク非着用者を監視し、注意を促します。 | <b>インテリジェント分析</b><br> 58ページ     |
| <b>高温者やマスク非着用者の入室を拒否したい</b><br>● 検知後、自動でドアロックします。           | <b>警報のリンク</b><br> 60ページ         |
| <b>顔認証機能を使用して、セキュリティ管理したい</b><br>● 社員や生徒以外の入室を制御します。        | <b>画像をインポート</b><br> 61ページ       |
| <b>認証条件の組み合わせを変えたい</b><br>● 検出条件を個別に指定できます。                 | <b>基本設定</b><br> 58ページ           |
| <b>検出時間や曜日をスケジューリングしたい</b><br>● 1週間単位で時間や曜日を指定できます。         | <b>アーミングスケジュール</b><br> 61ページ    |
| <b>一日の高温者やマスク非着用者の人数が知りたい</b><br>● 顔認証の記録を一覧表示し、確認できます。     | <b>顔認識の記録</b><br> 63ページ       |
| <b>個人の入室時間を調べたい</b><br>● 社員や生徒の入室時間が分かります。                  | <b>顔認識の記録</b><br> 63ページ       |
| <b>屋内監視カメラとして使用したい</b><br>● 動きに反応して映像を自動保存します。              | <b>警報</b><br> 53ページ           |
| <b>異常検知時に連絡が欲しい</b><br>● 異常検知時にはメールを自動送信してお知らせします。          | <b>警報メールを送信</b><br> 57ページ     |
| <b>離れた場所で管理したり、検出情報を確認したい</b><br>● ネットワークを介してウェブブラウザで制御します。 | <b>設定する</b><br> 41ページ         |
| <b>複数台を一度に管理したい</b><br>● 専用ソフトウェアを使用して一元管理します。              | <b>CMS-9100を使用する</b><br> 9ページ |
| <b>いろいろな外部装置と連動させたい</b><br>● インターフェースコネクタを使用して接続します。        | <b>配線・接続する</b><br> 30ページ      |

# 各部のなまえ

## 本体

\* CTS-NY8R (ラックマウント) / CTS-NY8W (ウォールマウント) 共通



## インターフェースコネクタ

\* CTS-NY8R (ラックマウント) / CTS-NY8W (ウォールマウント) 共通

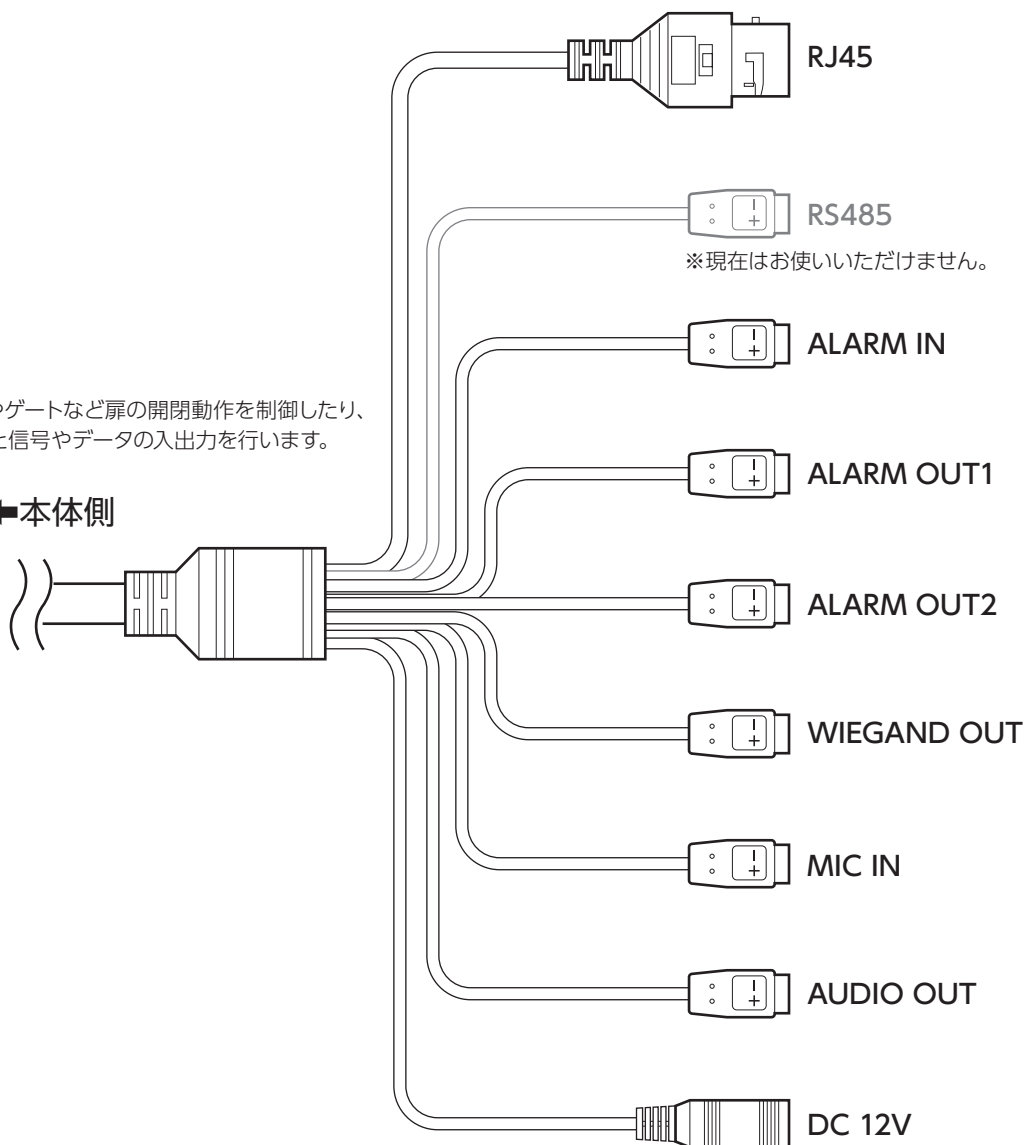


### 警告

• 電源コードやケーブルを破損させたり、無理な方向に引っ張ったり、加工しないでください。(無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟みこむなど) 電源コードやケーブルが傷付いて、火災・感電・故障の原因となります。

- 自動ドアやゲートなど扉の開閉動作を制御したり、外部装置と信号やデータの入出力を行います。

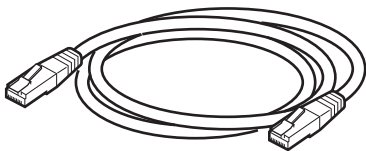
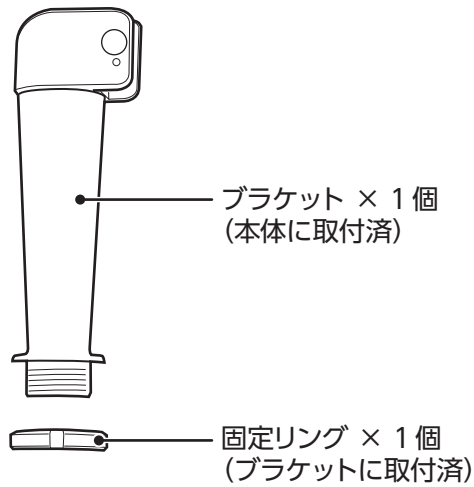
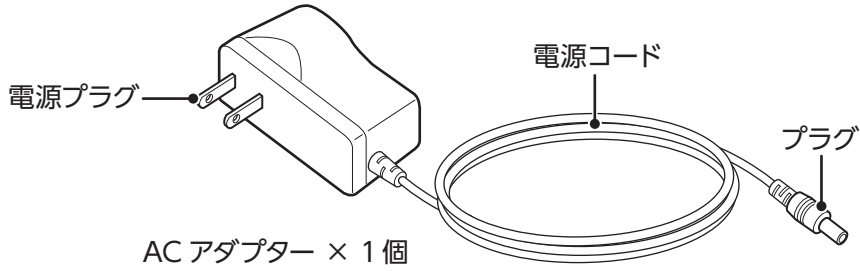
← 本体側



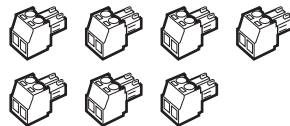
# 各部のなまえ(つづき)

**付属品** \* CTS-NY8R (ラックマウント) のみ

各部のなまえ



LANケーブル (RJ-45) × 1個

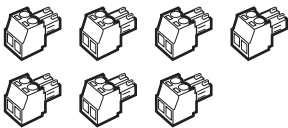
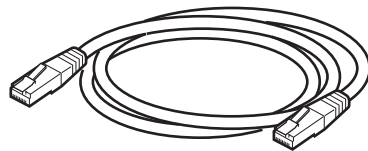
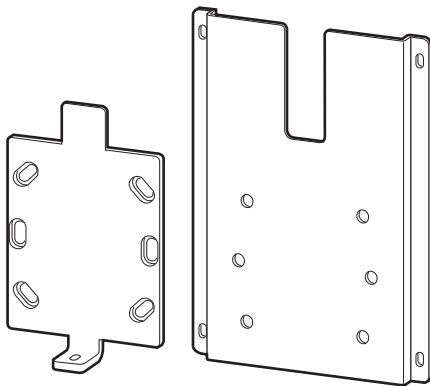
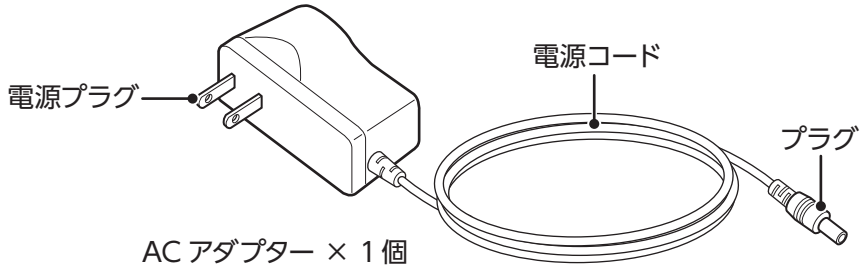


アタッチメント × 7個

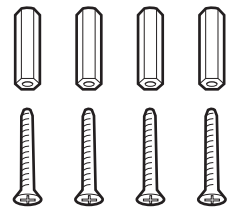
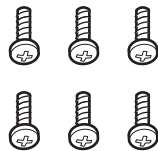


六角レンチ × 1個

**付属品** \* CTS-NY8W (ウォールマウント) のみ



※本体底部固定用ネジは、  
付属のアタッチメント袋に  
封入されています。

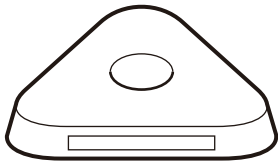




# 別売品について

## 別売品

- 別売品のお買い求めは、販売代理店にご相談ください。

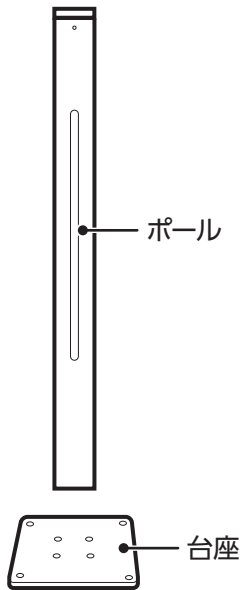


卓上スタンド

品番	CTS-NY8R-OP3
個数	1 個



※取り付けイメージ



ポールスタンド



品番	ポール:CTS-NY8R-OP1
	台座:CTS-NY8R-OP2
個数	1 個



※取り付けイメージ

## 設置・接続編

---

安全上のご注意	18～19
設置上のお願い	20
設置する	21～35
・ 設置の流れ	21
・ 装置、設備に「直接」取り付ける場合	22～23
・ 別売の「スタンド」などに 取り付ける場合	24～27
・ 付属の壁掛け金具セットを使用して 「壁」などに取り付ける場合	28～29
配線・接続する	30～35
・ インターフェースコネクタの種類	30
・ インターフェースコネクタの 接続のしかた	31
・ インターフェースコネクタの 機能と説明	32～35
起動・動作確認	36～37


# 安全上のご注意


必ずお守りください


●本製品の性能を十分発揮させ、かつ安全にご使用いただくため、設置・電気工事・配線工事・点検は必ず専門の業者が行ってください。


必ず設置前に次の注意事項をよくお読みいただき、安全に正しく設置を行ってください。

■表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します） ■図記号の説明

 **警告** 「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。


 **注意** 「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

 図記号の中の絵や近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。


 図記号の中の絵や近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

## 設置するとき


### 警告

 禁止


- 電源コードやケーブルを破損させたり、無理な方向に引っ張ったり、加工しない（無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟みこむなど）  
（電源コードやケーブルが傷付いて、火災・感電・故障の原因）

 禁止


- 不安定な場所や振動の多い場所に設置しない  
（落下・転倒によるけがや事故の原因）

 禁止


- 高温多湿になる場所、水のかかる場所、結露する場所に設置しない  
（感電・漏電火災・事故の原因）

 禁止


- 可燃性ガスや腐食性ガスが発生する場所などに設置、使用しない  
（爆発や取付部が劣化し、落下によるけが・事故の原因）

 禁止


- 取付時などにモニター画面を押さえたり、叩いたり、落としたり、衝撃を与えない  
（故障・けがの原因）

 禁止


- ACアダプターや電源コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントのさし込みがゆるい場合は使わない  
（火災・感電・けが・ショートの原因）

 禁止


- 本製品の付属品を他の機器に使用しない  
（故障の原因）

 禁止


- ACアダプターは本製品に付属のもの以外を取り付けない  
（故障・火災・感電の原因）

 禁止

- 蒸気が当たるような場所、ほこりの多い場所に設置しない  
（故障の原因）

 禁止

- 火気の近くに設置しない  
（火災・感電・故障の原因）

 めれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜きさしたり、設置や配線工事をしない  
（ショート・感電・けがの原因）

# 警告



指示

- 本製品は屋内に設置し、屋内で使用する  
(感電・故障の原因となります。)



指示

- 総質量に耐える場所に取り付ける  
(落下・転倒によるけがや事故の原因)



指示

- 設置するときは、本製品と取り付ける装置の電源を切ってから行う  
(感電・故障の原因となります。)



指示

- AC アダプターの1次・2次配線は施工運用時に傷つかないように配線し、踏まれたり引っ掛けるおそれがある場合は、保護ダクトなどを使用し保護する  
(故障・火災・感電の原因)



指示

- 電源プラグ、ACアダプターは清潔にする  
(発火・火災の原因)



指示

- 電源は交流 100V のコンセントを単特で使用する  
(火災・感電の原因)



指示

- 電源プラグは根元まで確実にさし込む  
(火災・感電の原因)



指示

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ず、電源プラグを持って引き抜く  
(感電やショートによる発火の原因)

# 注意



禁止

- 直射日光の当たるところに設置しない  
(故障・火災の原因)



禁止

- 本製品のパネル部(カメラ・LED・モニター画面・)、体表面温度測定ユニット、体表面温度測定ユニット接続ケーブルに直接接触らない  
(誤動作・誤検知・故障の原因)



禁止

- ラジオ・テレビなどの近くや強い磁界を発生する装置などの近くに設置しない  
(誤動作・誤検知の原因)



禁止

- 本製品を電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等)の通信回線(公衆無線 LAN を含む)に直接接続しない  
本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータなどを経由して接続してください。



指示

- ファームウェアのアップデートは、安定したネットワークに接続された状態で行う  
ファームウェアのアップデートを行うと、本製品が自動的に再起動します。ファームウェアのアップデートを行うときは、本製品の再起動により外部装置が誤動作しないことを確認の上、行ってください。  
(ファームウェアのアップデートに失敗し、本製品の故障・誤動作の原因)



指示

- 「Boot Update Tool」を実行するときはウイルス対策ソフトを停止し、ファイアウォールをオフにした状態で実行する  
(ファームウェアのアップデートが正常に行われず、本製品の故障・誤動作の原因)



指示




- 本体の角度を調節するとき・設置するときは、隙間に指などを挟み込まないように注意する  
(けがの原因)

# 設置上のお願い

- 本製品の設置・電気工事・配線工事・点検は必ず専門の業者が行ってください。
- 設置するときは、安定したところに確実に設置してください。また、がたつきなどがないか定期的に確認してください。
- ACアダプターやインターフェースコネクタは確実に接続してください。  
※本製品に電源スイッチはありません。ACアダプターを接続すると電源が入ります。
- 以下のような場所での設置および使用はできません。
  - ・ ちゅう房内などの蒸気や油分の多い場所
  - ・ 溶剤および可燃性ガスなどの特殊環境の発生する場所
  - ・ プール、栽培用ビニールハウス内など、薬剤を使用する場所
  - ・ 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
  - ・ 火山地帯、温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
  - ・ 使用温度範囲を超える場所「仕様（69ページ）参照」
  - ・ 車両、船舶、工場ライン上などの振動の多い場所
  - ・ エアコン近くなど、急激に温度が変化する場所  
(モニター画面が曇ったり、結露するおそれがあります)
- 本製品は医療器具または医療用としてご使用いただけません。
- 本製品は、音声信号を本体スピーカーまたは外部スピーカーへ出力します。設置後は音声・音量によるトラブルにご注意ください。
- 太陽光や照明など高輝度光源による光が直接、または反射して本体のカメラに当たると誤動作・誤検知するおそれがあります。設置するときは光が当たらないようご注意ください。
- 本製品は、体表面温度測定センサーにより体表面温度を測定します。赤外線照明が当たる場所に設置すると誤動作・誤検知するおそれがあります。
- 体表面温度測定ユニット接続ケーブルを傷つけたり、断線しないようご注意ください。
- 製品は、内蔵カメラにより撮影された画像を直接またはネットワークを介して他の機器へ転送・記録し、閲覧できる機能を装備しています。本製品を設置する際は、設置場所や周囲の環境、映り込む画像などの適正を確認し、プライバシーの保護に配慮した設置、運用を行ってください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する他の機器およびソフトウェアに記録された情報内容は「個人情報」に該当する場合がありますので取り扱いに十分に注意してください。また、本製品および本製品とともに使用する他の機器、ソフトウェアを廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡す場合には、その取り扱いに十分に注意してください。  
※登録された情報（「顔認識の記録」「顔データベース」）を消去する場合は、61～63ページをご参照ください。
- 本製品に保存または記録された個人情報を含むデータは、本製品内蔵の記憶装置に保存されます。そのため、本製品の修理・交換などを行う際、本製品とともにデータが持ち出される場合が考えられますので、あらかじめすべての保存・記録データを削除してください。
- 本製品は、パソコンのウェブブラウザを使用して各種設定を行います。ご使用の環境やウェブブラウザのバージョンなどにより正常に設定・閲覧ができない場合は、ウェブブラウザを変更し、各種設定を行ってください。  
※ [Microsoft Edge] [Internet Explorer] などは、一部の機能が正常に設定できない場合があります。本製品の設定は、「Google Chrome」 [Firefox] などをご使用ください。

## 設置の流れ

### 1 設置方法と設置場所の適正を確認する

- 設置方法に合わせて、設置環境、設置強度、設置スペースを確認してください。
- ◇ 入場ゲートなどの装置、設備に「直接」取り付ける場合 (CTS-NY8Rのみ)  
 22 ページ
- ◇ 別売の「スタンド」などに取り付ける場合 (CTS-NY8Rのみ)  
 24 ページ
- ◇ 付属の壁掛け金具セットを使用して「壁」などに取り付ける場合 (CTS-NY8Wのみ)  
 28 ページ

### 2 本製品を外部装置、または設備に取り付ける

- 取り付け前にインターフェースコネクタを接続する場合は、始めに下記の「配線・接続する」を行ってください。

### 3 配線・接続する

- 本製品のインターフェースコネクタを外部装置に接続します。
- 本製品のACアダプターをコンセントにさし込み、電源を入れます。

### 4 起動・動作確認

- 本製品と外部装置が正常に動作、連動するか確認します。



設置が完了したら、「設定・運用編 (39ページ)」に従って本製品の設定を行ってください。

### お願い

- 接続する外部装置の設定や切り替え作業などが必要な場合は、あらかじめ外部装置の取扱説明書をお読みの上、指示に従って設定してください。

## 1 設置場所の環境・強度・スペースなどを確認する

- 「設置上のお願い (20 ページ)」をよくお読みいただき、設置場所の適正をご確認ください。

※ 本製品と被検者が下記の範囲になるように設置してください。

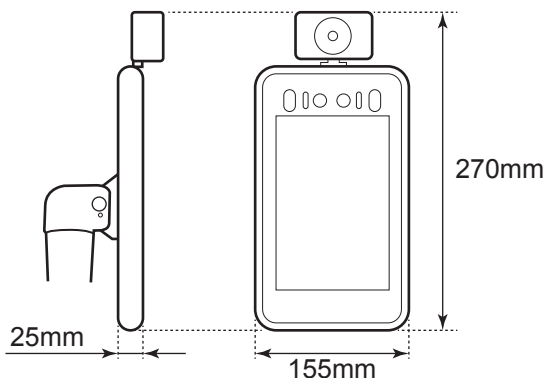
体表面温度検出距離: 0.3 ~ 0.6m

推奨される顔認識範囲: 距離: 0.5 ~ 2.0m / 高さ: 1.2 ~ 2.2m

\* 推奨値となりますので、実際の設置環境で検証を行ってください。

### 本体寸法について

- 本体寸法を確認し、設置スペースを確保する

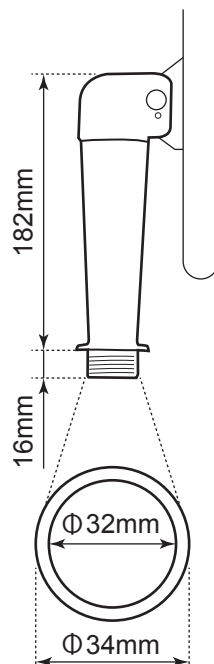


### 重量について

- 取り付け先の装置または設備が、10kg以上の重量に耐えられることを確認する  
 ➔ 「仕様 (69 ページ)」

### ブラケット外径・内径について

- 本製品のブラケット外径と、取り付け先の装置または設備の取り付け部が適合することを確認する





## 2 本製品を取り付ける

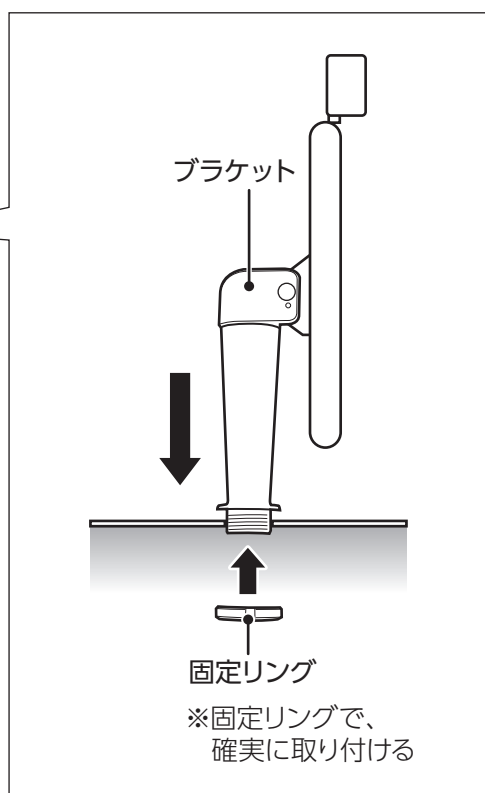
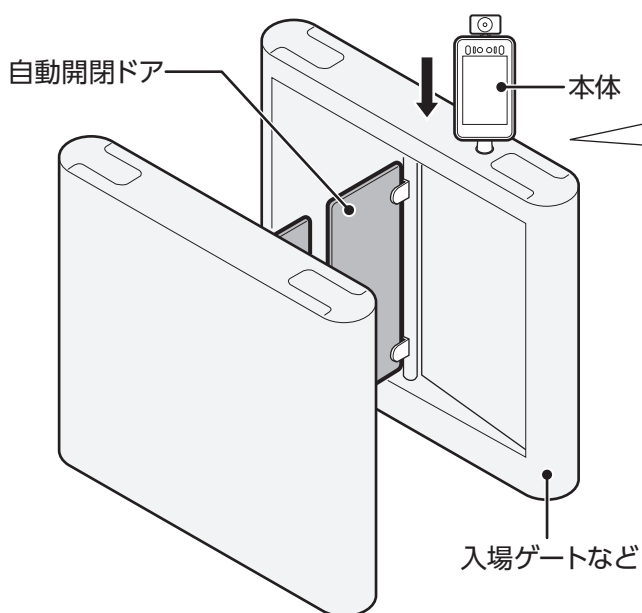
- 本製品の向きや角度を調節し、装置・設備に確実に取り付けてください。
- ※ 取り付けかたは、取り付ける場所の取扱説明書をご参照ください。
- ※ 取り付け前にインターフェースコネクタを接続する場合は、手順 **3** の「配線・接続する」をはじめに行ってください。

### ⚠ 警告

- 設置するときは、本製品と取り付ける外部装置の電源を切ってから行ってください。感電・故障の原因となります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。けが・故障の原因となります。

### ⚠ 注意

- 本体の角度を調節するとき・設置するときは、隙間に指などを挟み込まないようにご注意ください。



## 3 配線・接続する「配線・接続する (30ページ)」参照

- 本製品のインターフェースコネクタを装置または設備のコネクタに接続してください。
- ※ 接続後、各ケーブルが引っ張られていたり、無理に接続されないか確認してください。

## 4 起動・動作確認をする「起動・動作確認 (36ページ)」参照

- 本製品と接続した外部装置が正常に動作、連動するか確認してください。

別売の「スタンド」などに取り付ける場合

CTS-NY8R (ラックマウント)

お願い

- 接続する外部装置の設定や切り替え作業などが必要な場合は、あらかじめ外部装置の取扱説明書をお読みの上、指示に従って設定してください。

1 設置場所の環境・強度・スペースなどを確認する

- 「設置上のお願い (20 ページ)」をよくお読みいただき、設置場所の適正をご確認ください。

※ 本製品と被検者が下記の範囲になるように設置してください。

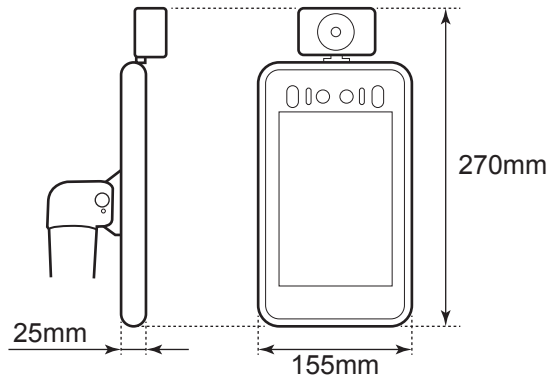
体表面温度検出距離: 0.3 ~ 0.6m

推奨される顔認識範囲: 距離: 0.5 ~ 2.0m / 高さ: 1.2 ~ 2.2m

\* 推奨値となりますので、実際の設置環境で検証を行ってください。

本体寸法について

- 本体寸法を確認し、設置スペースを確保する

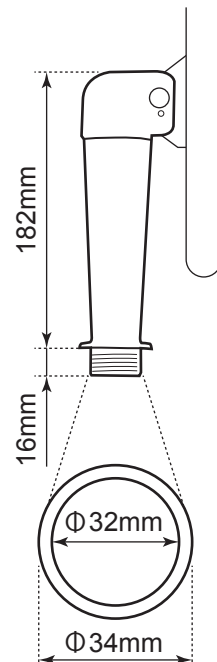


重量について

- 市販のスタンドなどに取り付ける場合は、10kg以上の重量に耐えられることを確認する  
 ➔ 「仕様 (69 ページ)」

ブラケット外径・内径について

- 市販のスタンドなどに取り付ける場合は、ブラケット外径・内径と、取り付け先が適合することを確認する



<b>⚠ 警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 設置するときは、本製品と取り付ける外部装置の電源を切ってから行ってください。感電・故障の原因となります。</li><li>• 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。けが・故障の原因となります。</li><li>• 不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。落下・転倒によるけがや事故の原因となります。</li><li>• 市販のスタンドなど別売のスタンド以外に取り付けるときは、取り付ける製品の注意事項をよくお読みの上、正しく取り付けてください。</li></ul>
-------------	---

<b>⚠ 注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 本体の角度を調節するとき・設置するときは、隙間に指などを挟み込まないようにご注意ください。</li></ul>
-------------	---

## 2 別売のスタンド、または市販のスタンドに取り付ける

- ケーブルを引っ張ったり、傷つけたりしないように注意して接続してください。
- スタンドにぐらつきや傾きがないことを必ず確認してください。

別売の「卓上スタンド」に取り付ける場合 …26 ページの手順 **1**、**2** をご参照ください。

別売の「ポールスタンド」に取り付ける場合 …27 ページの手順 **1**、**2** をご参照ください。

※市販のスタンドなどに取り付ける場合は、取り付ける製品の取扱説明書をお読みください。

## 3 配線・接続する「配線・接続する (30ページ)」参照

- 本製品のインターフェースコネクタを装置または設備のコネクタに接続してください。
- ※ 接続後、各ケーブルが引っ張られていたり、無理に接続されないか確認してください。

## 4 起動・動作確認をする「起動・動作確認 (36ページ)」参照

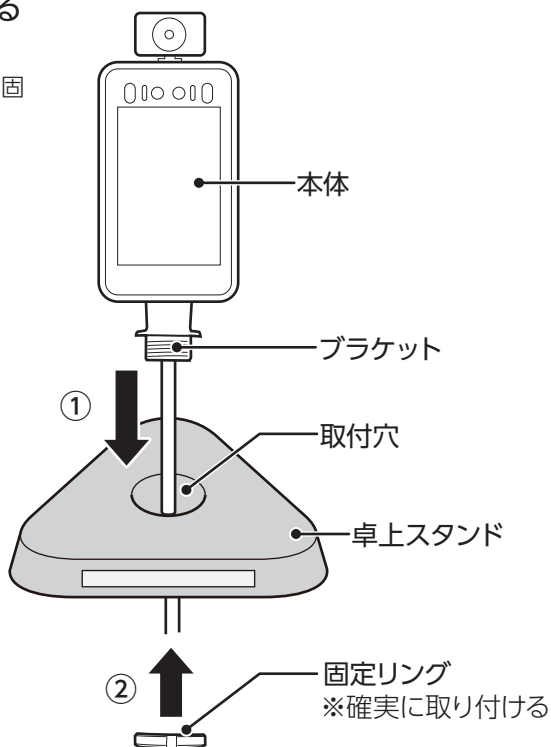
- 本製品と接続した外部装置が正常に動作、連動するか確認してください。

# 設置する(つづき)

## 別売の「卓上スタンド」に取り付ける場合

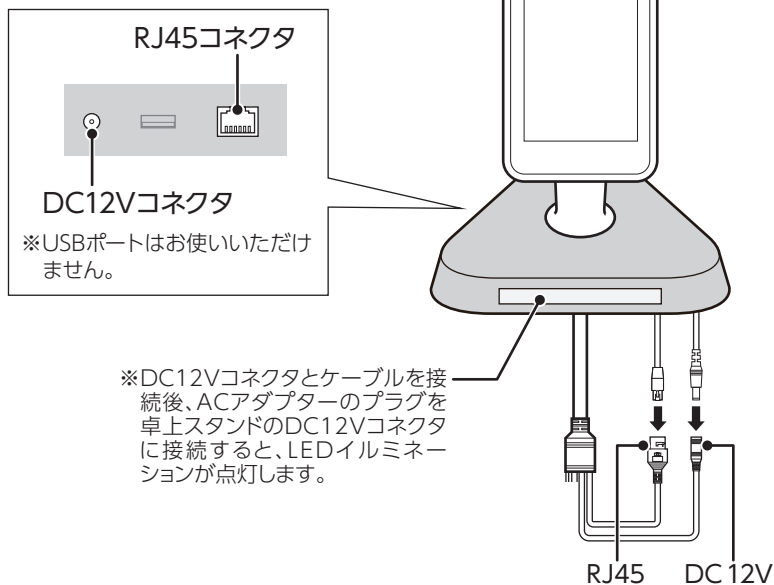
### 1 本製品を別売の卓上スタンドに取り付ける

- ① 本体のケーブルを卓上スタンドの取付穴に通す
- ② ブラケットを卓上スタンドの取付穴に合わせ、付属の固定リングで確実に取り付ける  
※ケーブルを固定リングに通してください。



### 2 DC12VコネクタとRJ45コネクタを卓上スタンド内部のケーブルに接続する

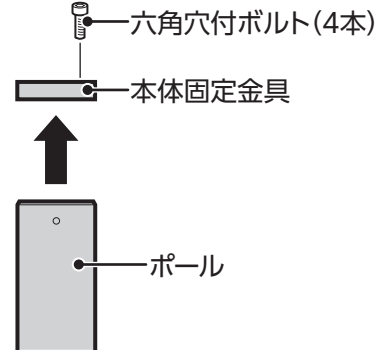
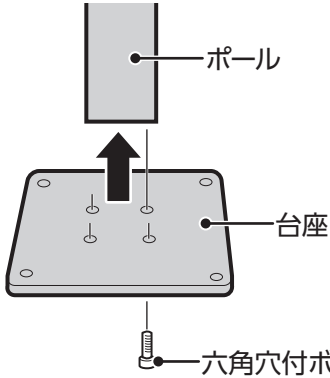
- それぞれのケーブルを確実に接続してください。  
※ 卓上スタンドのUSBポート(内部、外部とも)はお使いいただけません。



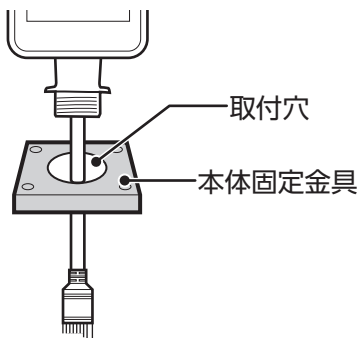
## 別売の「ポールスタンド」に取り付ける場合

### 1 本製品を別売のポールスタンドに取り付ける

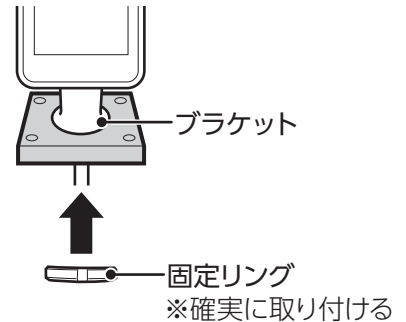
- ① ポールスタンドに付属の六角レンチと六角穴付ボルト(4本)を使用し、ポールと台座を確実に固定する
- ② 本体固定金具の六角穴付ボルト(4本)をゆるめ、本体固定金具をポールから取り外す



- ③ 本体のケーブルを本体固定金具の取付穴に通す



- ④ ブラケットを本体固定金具の取付穴に合わせ、付属の固定リングで確実に固定する

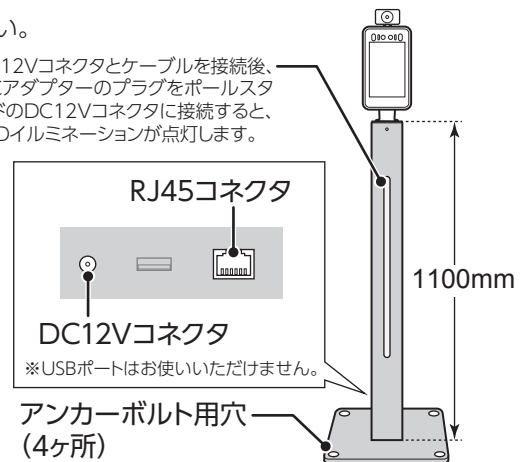
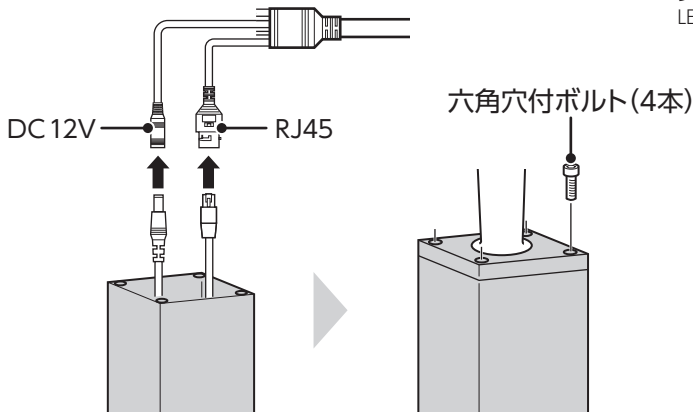


### 2 DC12VコネクタとRJ45コネクタをポールスタンド内部のケーブルに接続し、取り外した六角穴付ボルト(4本)で、本体固定金具とポールを確実に固定する

- ケーブルを挟み込まないように注意して取り付けてください。

※ ポールスタンドのUSBポート(内部、外部とも)はお使いいただけません。

※DC12Vコネクタとケーブルを接続後、ACアダプターのプラグをポールスタンドのDC12Vコネクタに接続すると、LEDイルミネーションが点灯します。



※転倒防止のため、アンカーボルト(4ヶ所)で確実にポールスタンドを固定してください。

## 付属の壁掛け金具セットを使用して「壁」などに取り付ける場合

CTS-NY8W (ウォールマウント)

### お願い

- 接続する外部装置の設定や切り替え作業などが必要な場合は、あらかじめ外部装置の取扱説明書をお読みの上、指示に従って設定してください。

## 1 設置場所の環境・強度・スペースなどを確認する

- 「設置上のお願い (20 ページ)」をよくお読みいただき、設置場所の適正をご確認ください。

※ 本製品と被検者が下記の範囲になるように設置してください。

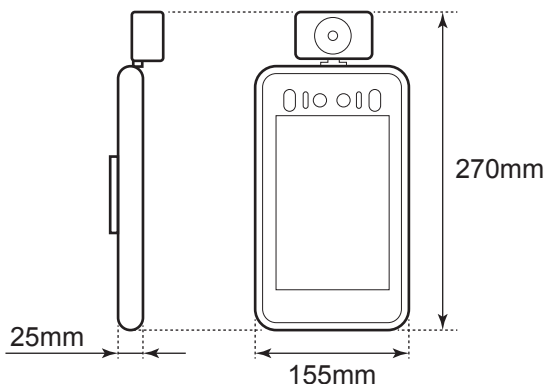
体表面温度検出距離: 0.3 ~ 0.6m

推奨される顔認識範囲: 距離: 0.5 ~ 2.0m / 高さ: 1.2 ~ 2.2m

\* 推奨値となりますので、実際の設置環境で検証を行ってください。

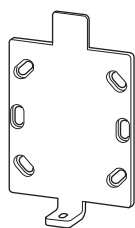
### 本体寸法について

- 本体寸法を確認し、設置スペースを確保する

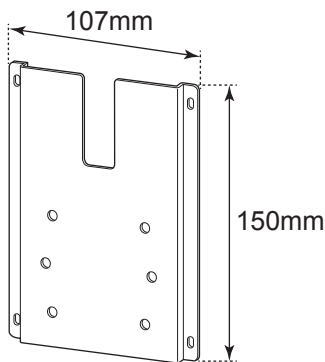


### 壁掛け金具セットについて

- 付属の壁掛け金具セットが取り付け壁面に適合することを確認する



※ 壁側に取り付ける金具です。



※ 壁側に取り付ける金具です。

### 重量について

- 取り付ける壁面が、10kg 以上の重量に耐えられることを確認する  
➡ 「仕様 (69 ページ)」

### 警告

- 設置するときは、建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。
- 石こうボードや木部は強度が弱いので取り付けしないでください。やむを得ず取り付けの場合は、十分な補強を施してください。

## 2 本製品を取り付ける

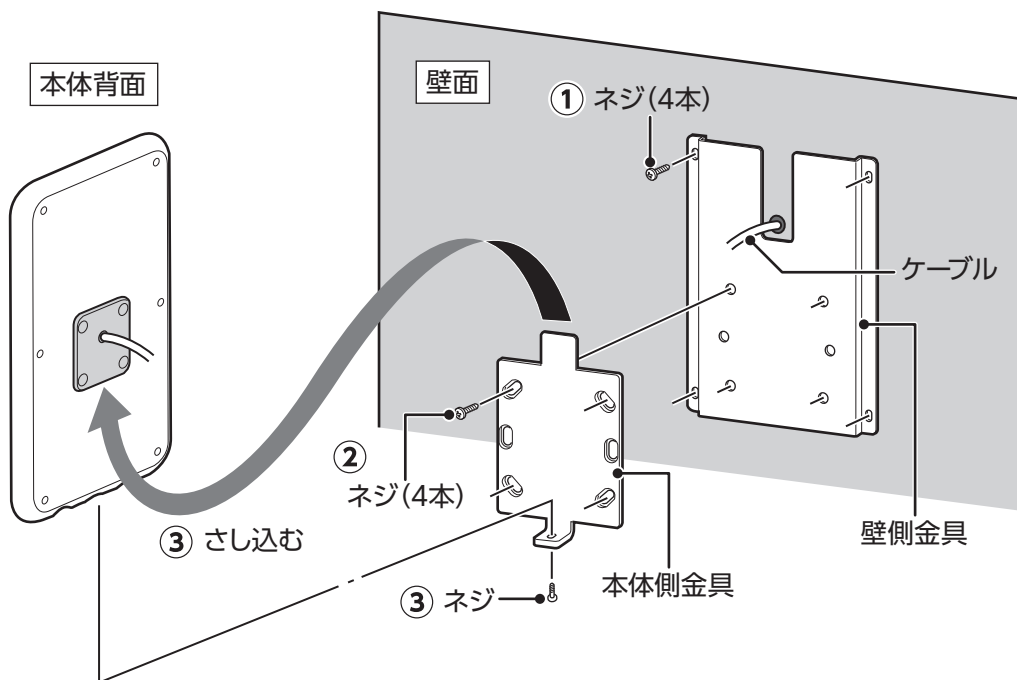
- 本製品の取り付け位置や高さを調節し、確実に取り付けてください。
- ※ 取り付け前にインターフェースコネクタを接続する場合は、手順 **3** の「配線・接続する」をはじめに行ってください。



### 警告

- 設置するときは、本製品と取り付ける外部装置の電源を切ってから行ってください。感電・故障の原因となります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。けが・故障の原因となります。

- ① 壁側金具をネジ (4本) で壁面に取り付ける
  - ② 本体側金具をネジ (4本) で壁側金具に取り付ける
  - ③ 本体側金具の突起部を本体背面にさし込み、本体側金具と本体底部をネジで固定する
- ※ 壁面がコンクリートの場合は始めに下穴を開け、コンクリートアンカーなどを使用して取り付けてください。



## 3 配線・接続する「配線・接続する (30ページ)」参照

- 本製品のインターフェースコネクタを装置または設備のコネクタに接続してください。
- ※ 接続後、各ケーブルが引っ張られていたり、無理に接続されないか確認してください。

## 4 起動・動作確認をする「起動・動作確認 (36ページ)」参照

- 本製品と接続した外部装置が正常に動作、連動するか確認してください。



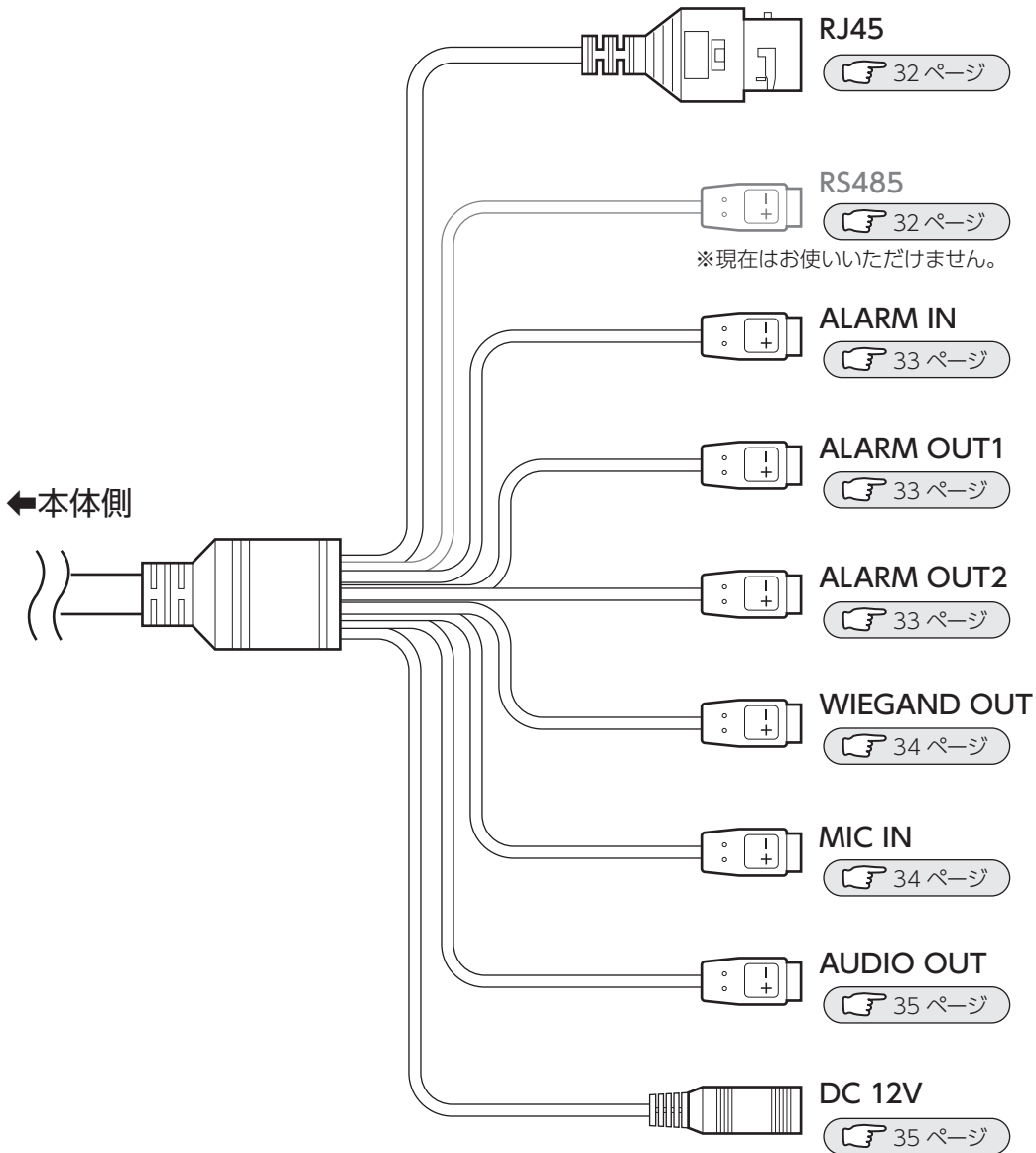
# 配線・接続する

## インターフェースコネクタの種類

### 警告

- 接続するときは、本製品と取り付ける装置の電源を切ってから行ってください。感電・故障の原因となります。
- 電源コードやケーブルを破損させたり、無理な方向に引っ張ったり、加工しないでください。(無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟みこむなど) 電源コードやケーブルが傷付いて、火災・感電・故障の原因となります。

- 本製品と接続する外部装置の入出力信号を確認し、適切に接続を行ってください。



配線・接続する 《設置・接続編》

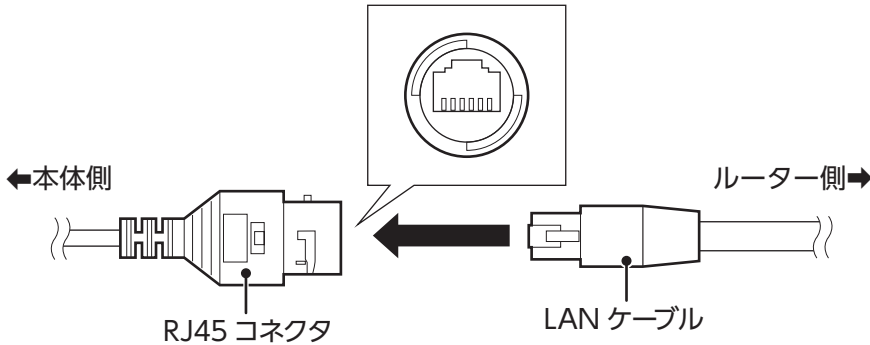
## インターフェースコネクタの接続のしかた

### ⚠ 注意

- ケーブルを配線するときは、ゆるみやたわみがないように確実に配線を行ってください。ケーブルに引っかかって転倒したり、ケーブルを挟み込んで断線する原因となります。

#### RJ45 コネクタ

- LANケーブルをRJ45コネクタに接続します。



#### RS485 コネクタ

#### ALARM OUT1 コネクタ

#### ALARM OUT2 コネクタ

#### ALARM IN コネクタ

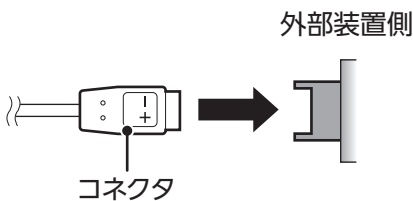
#### WIEGAND OUT コネクタ

#### MIC IN コネクタ

#### AUDIO OUT コネクタ

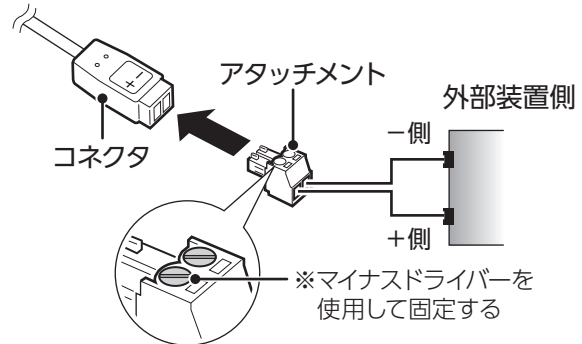
- 各コネクタを外部装置のインターフェースへそれぞれ接続します。直接接続ができない場合は、付属のアタッチメントを使用して接続してください。

#### ■ 直接接続する場合



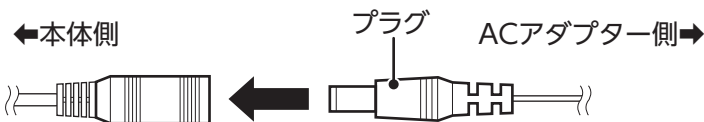
#### ■ アタッチメント (付属品) を使用する場合

- ※極性 (+・-) を確認して接続してください。



#### DC 12V コネクタ

- ACアダプターのプラグをインターフェースコネクタ [DC 12V] へ接続します。



## インターフェースコネクタの機能と説明

### RJ45 コネクタ

• LANケーブル (RJ45) を接続します。データ通信中は、LEDランプが緑点滅します。

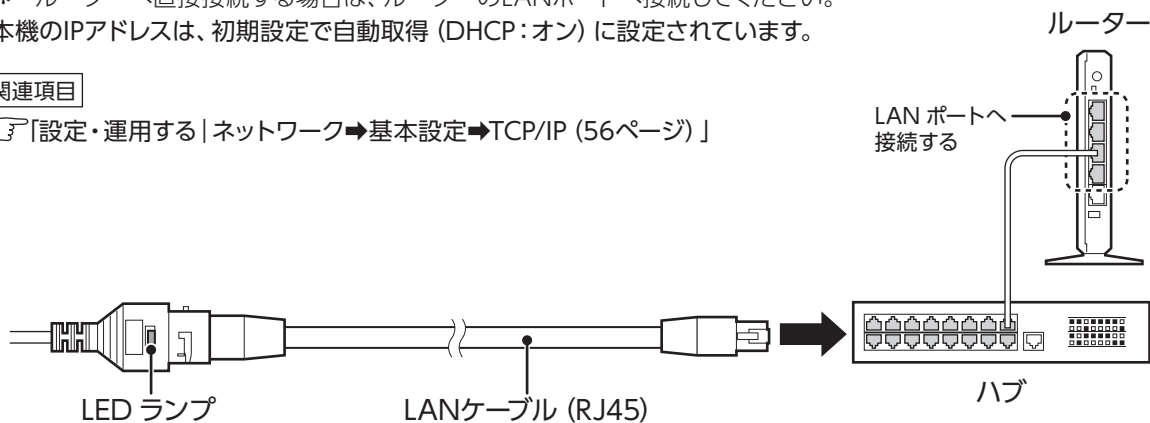
※LANケーブルの一方はハブ、ルーター\*などに接続し、同一ネットワーク上のパソコンからLAN経由で本機の設定を行います。

\*…ルーターへ直接接続する場合は、ルーターのLANポートへ接続してください。

※本機のIPアドレスは、初期設定で自動取得 (DHCP: オン) に設定されています。

#### 関連項目

「設定・運用する | ネットワーク → 基本設定 → TCP/IP (56ページ)」



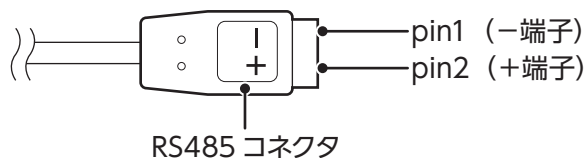
名称	規格・仕様
RJ45コネクタ	100BASE-TX
LANケーブル	100BASE-TX

### ⚠ 注意

- 本製品を電気通信事業者 (移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等) の通信回線 (公衆無線 LAN を含む) に直接接続しないでください。
- 本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータなどを經由して接続してください。

### RS485 コネクタ

※現在はお使いいただけません。



名称	規格・仕様
RS485	RS485
	pin1: - pin2: +

## ALARM IN コネクタ

- 外部警報装置などからの警報信号を入力する場合に接続します。
- 本製品では、外部警報装置から警報信号を入力すると、あらかじめ設定されたメールアドレスにメールを送信します。

名称	規格・仕様	
ALARM IN	無電圧有接点 (スイッチなど) 入力	DC12V, 0.5mA

### 関連項目

☞「設定・運用する | 警報→警報入力 (55ページ)」

## ALARM OUT1 コネクタ

## ALARM OUT2 コネクタ

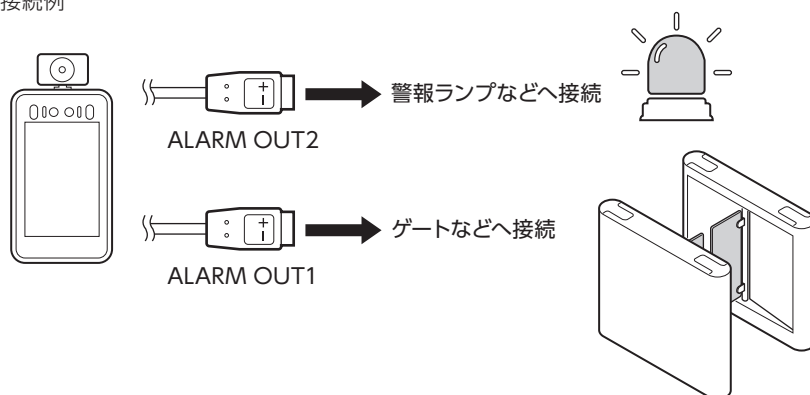
- ドアロック解除信号を出力し、自動ドアやゲートなどのドア開閉動作を制御する場合に接続します。
- 本機に設定された条件を満たすと、外部装置などに警報信号を出力します。

名称	規格・仕様	
ALARM OUT1 ALARM OUT2	無電圧有接点 (リレー) 出力	開閉容量
		DC12V, 2A

### 関連項目

☞「設定・運用する | インテリジェント分析→顔検知→警報のリンク (60ページ)」

※接続例



## 配線・接続する(つづき)

### WIEGAND OUT コネクタ

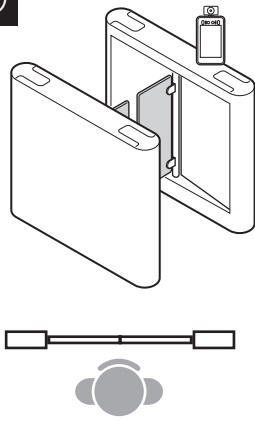
- 本製品から外部アクセスコントローラーにウィーガンドプロトコルを使用して情報を送信・制御する場合に接続します。

関連項目

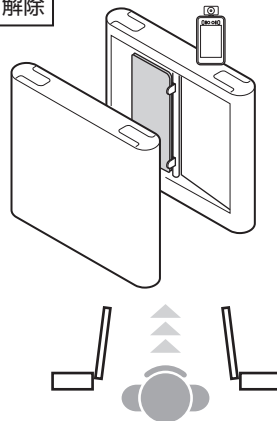
☞「設定・運用する | インテリジェント分析⇒顔検知⇒Wiegand (64ページ)」

名称	規格・仕様
WIEGAND OUT	出力：Hレベルは5-5.3V、Lレベルは0-0.3V ※カードリーダーなどに使われているWiegandプロトコルを使用

ドアロック



ドアロック解除



### MIC IN コネクタ

- 外部マイクなどから音声信号を入力する場合に接続します。

関連項目

☞「設定・運用する | 映像と音声⇒音声ストリーム⇒音声入力の調整 (50ページ)」

名称	規格・仕様
MIC IN	外部マイク入力 マイク出力端子側内部インピーダンス：100-600Ω (参考値)

## AUDIO OUT コネクタ

- 本製品から、外部スピーカーなどに音声を出力する場合に接続します。

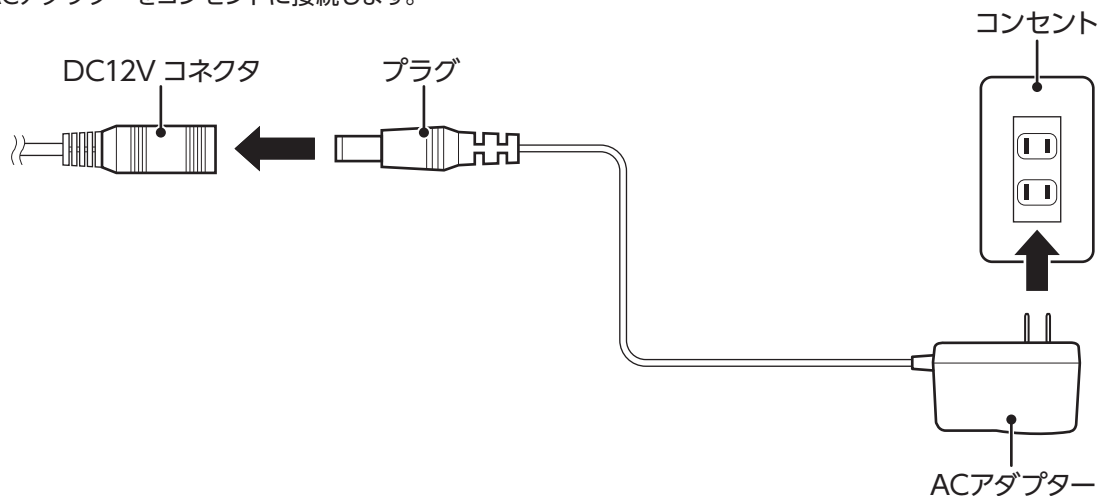
### 関連項目

☞「設定・運用する | 映像と音声 → 音声ストリーム → 出力デバイス (50ページ)」

名称	規格・仕様
AUDIO OUT	オーディオ出力 スピーカー定格入力：20-30W (参考値)

## DC 12V コネクタ

- ACアダプターのプラグをDC12Vコネクタに接続し、ACアダプターをコンセントに接続します。



### 警告

- ACアダプターの1次・2次配線は施工運用時に傷つかないように配線してください。踏まれたり引っ掛けるおそれがある場合は、保護ダクトなどを使用し保護してください。
- ACアダプターは本製品に付属のもの以外を取り付けしないでください。故障・火災・感電の原因になります。

### お知らせ

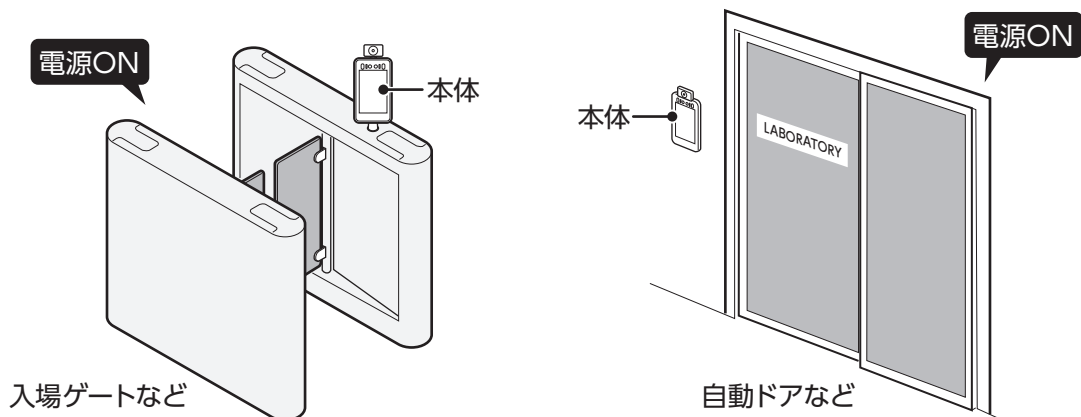
- 本製品に電源スイッチはありません。ACアダプターを接続すると電源が入ります。

# 起動・動作確認

本製品と接続した外部装置が正常に動作、連動するか確認してください。

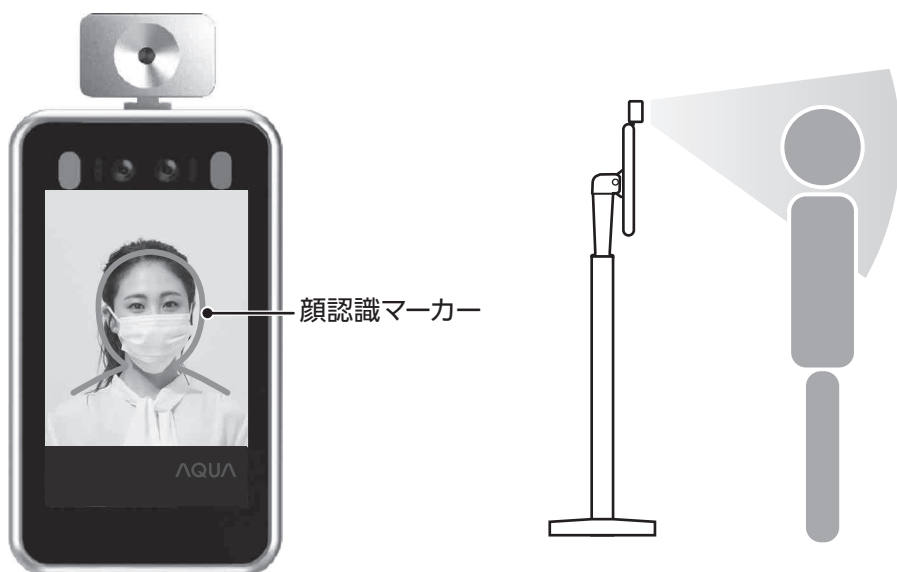
## 1 外部装置の電源を入れる

※本製品は、ACアダプターを接続すると電源が入ります。はじめに外部装置の電源を入れる場合は、本製品のACアダプターをコンセントから抜き、外部装置の電源を入れてから、再度ACアダプターをコンセントにさし込んでください。



## 2 本体の前に立ち、被検者の顔が顔認証マーカールの範囲に入ること確認する

- 正しく入らない場合は、本体の向きや高さを調節してください。



体表面温度検出距離：0.3 ～ 0.6m  
 推奨される顔認識範囲：距離：0.5 ～ 2.0m / 高さ：1.2 ～ 2.2m  
 ＊推奨値となりますので、実際の設置環境で検証を行ってください。

### 3 自動ドアなどが正しく開閉することを確認する

※ 適正に連動しない場合は、本製品と外部装置の配線・接続をご確認ください。

#### お願い

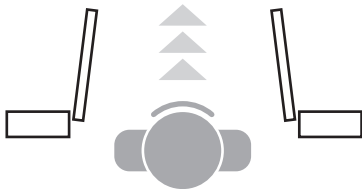
- 本製品は、体表面温度、マスク着用の有無などを認証条件に設定できます。認証条件を設定すると、設定された条件に基づき、入室の可否をドアの開閉により制御します。設定された認証条件に基づき適切にドアが開閉するか、すべての項目について動作確認を行ってください。  
設定できる内容については、「設定・運用編 (39～64ページ)」をご参照ください。

<認証例> ※ドアロック解除の条件を以下に設定した場合(【 】かっこ内は初期設定値)

体表面温度：37.4℃以下 【体表面温度検知：する／警報温度：37.5℃以上】  
マスク検知：する 【する】  
顔認証設定：する 【しない】



))) 正常温度です。  
認証成功です。

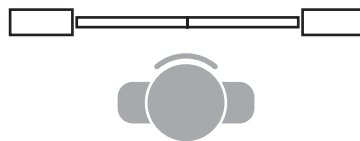


ドアロック解除

体表面温度：36.5℃  
マスク着用：有  
本人認証：成功



))) 基準値を超えた温度です。

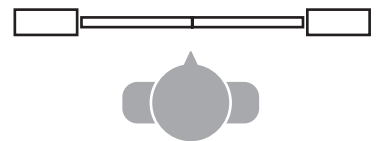


ドアロック

体表面温度：37.7℃ (\*)  
マスク着用：有  
本人認証：成功



))) 正常温度です。  
マスクを着用してください。



ドアロック

体表面温度：36.7℃  
マスク着用：無 (\*)  
本人認証：失敗 (\*)

\*印が認証条件を満たしていないため、ドアロックが解除できません。





## 設定・運用編

---

使いかた	40
・検知・認証のしかた	40
設定する	41～64
・設置の流れ	41
・設定項目一覧	42
・システムの管理	43～48
・映像と音声	49～50
・ディスプレイ	50～53
・警報	53～55
・ネットワーク	56～57
・ストレージ	57
・インテリジェント分析	58～64

## 検知・認証のしかた

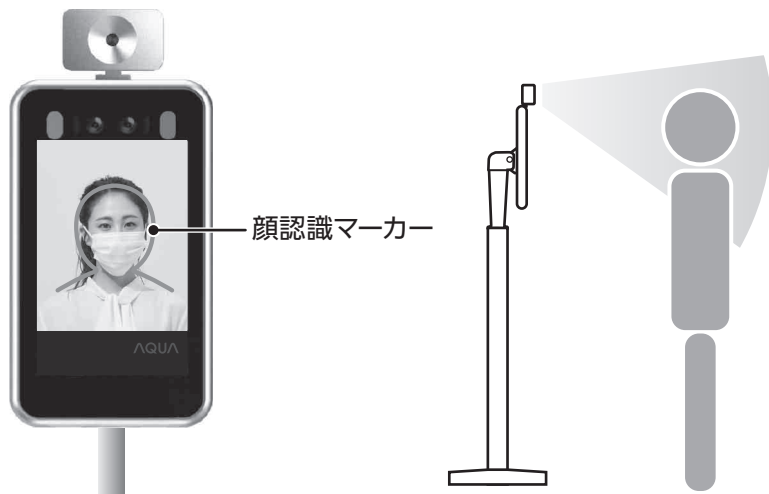
### 1 本体の前に立ち、顔が顔認証マーカの範囲に入るように移動する

● 検知が正常に終わると、検知結果をモニターに表示し、音声アナウンスが流れます。

※ 検知できない場合は、以下の項目をご確認ください。

- ・ 下を向いたり横を向いたりしている
- ・ サングラスや帽子をつけている
- ・ 顔が前髪やひげなどで覆われている
- ・ 手やハンカチなどで顔を覆っている
- ・ 本体やカメラに直射日光が当たっている

※ 検出条件が正しく設定されていない場合、正常に検知・認証できません。「**設定する** | インテリジェント分析 (58 ページ)」を参考に設定をご確認ください。



#### 検出条件の初期設定値

体表面温度検知：する  
 警報温度：37.5℃以上  
 マスク検知：する  
 顔認証設定：しない

体表面温度検出距離：0.3 ~ 0.6m  
 推奨される顔認識範囲：距離：0.5 ~ 2.0m / 高さ：1.2 ~ 2.2m  
 \* 推奨値となりますので、実際の設置環境で検証を行ってください。

<表示／音声アナウンス例>



🔊 基準値を超えた温度です。  
 認証成功です。



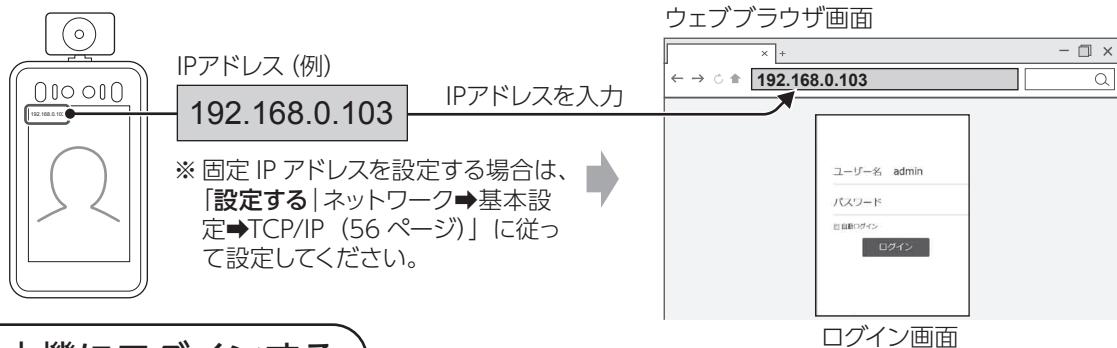
🔊 正常温度です。  
 マスクを着用してください。

# 設定する

**設定の流れ** ※各種設定をするときは、管理者（管理者グループ）でログインしてください。

## 1 パソコンのウェブブラウザにIPアドレスを入力する

- パソコンのウェブブラウザに本機のIPアドレスを入力してください。本機のログイン画面が表示されます。
- ※ 本機のIPアドレスは、本体のモニター画面（左上）に起動後5分間表示されます。5分経過し、表示が消えた場合は本機を再起動（電源切/入）してください。
- ※ ログイン画面が表示されない場合は、正しくネットワークに接続されているかご確認ください。
- ※ 本製品の設定は、「Google Chrome」「Firefox」などをご使用ください。「Microsoft Edge」「Internet Explorer」などは、一部の機能が正常に設定できない場合があります。



## 2 本機にログインする

- ユーザー名/パスワードを入力し、「ログイン」を押してください。システム管理画面が表示されます。
- ※ 初期設定では、ユーザー名は「admin」、パスワードは未入力設定されています。
- ※ 次回より自動でログインしたいときは、「自動ログイン」にチェックします。



## 3 言語設定をする（必要な場合のみ）

- 「設定する」システムの管理⇒システムの設定⇒全般情報 ⇒言語（43 ページ）に従って表示言語を変更してください。
- ※ 初期設定では、「日本語」が設定されています。

## 4 本機の設定をする

- 本機の設定を行ってください。設定内容は、42～64ページをご参照ください。

## 5 本機・外部装置の動作確認

- 本機や外部装置の動作に関する設定を変更した場合は、必ず動作確認を行ってください。

## 設定する(つづき)

## 設定項目一覧

パソコンのウェブブラウザを使用して本製品の設定を行います。設定できる項目は下記をご参照ください。

設定項目	主な機能・概要	備考	ページ
<b>システムの管理</b>	言語設定、時間設定、ユーザー設定などの基本的な設定を行います。		43
システムの設定	システム情報の表示・設定/日付と時刻を設定します。		43
全般情報	デバイス名、言語設定、ファームウェアバージョンの確認、設定します。		43
日付と時刻	現在時刻を設定します。		44
メンテナンス	ファームウェアのアップデート/本機を再起動します。		44
セキュリティ	本機にアクセスできるIPアドレスを制限します。		47
ユーザー	本機にログインできるユーザーを登録します。		48
ログ管理	システムログを表示します。		48
<b>映像と音声</b>	映像と音声に関する設定をします		49
映像ストリーム	モニターの映像に関する設定を行います。		49
音声ストリーム	再生される音声に関する設定を行います。		49
<b>ディスプレイ</b>	モニターの表示に関する設定を行います。		50
画像の設定	画像の調整/露出/WDR/昼間および夜間/詳細の設定をします。		50
画像の調整	明るさなどモニターの画質を調整します。		50
露出	モニター表示(露出)を調節します。		51
WDR	ワイドダイナミックレンジを設定します。		51
昼間および夜間	昼間と夜間の表示モードを設定します。		51
詳細	特殊なモニター表示の設定をします		51
OSD	モニターに表示する文字やフォントの設定をします。		52
基本設定	モニターに表示されるフォントの設定をします。		52
詳細設定	モニターに文字を表示するときを設定します。		52
プライバシーマスクの設定	モニター表示の一部を非表示にします。		53
<b>警報</b>	監視モード機能に関する設定を行います。		53
動体検知	映像の動き・変化を監視する動体検知モードの設定をします。		53
基本設定	監視エリアの設定をします。		53
警報のリンク	監視中の動作を設定します。		54
アーミングスケジュール	監視スケジュールを設定します。		54
警報入力	監視中の入力信号に関する設定をします。		55
警報のリンク	監視中、入力信号を受信したときの動作を設定します。		55
アーミングスケジュール	入力信号の受信スケジュールを設定します。		55
<b>ネットワーク</b>	ネットワークに関する設定を行います。		56
基本設定	TCP/IP/ポート管理の設定をします。		56
TCP/IP	本機のIPアドレスを設定します。		56
ポート管理	ネットワークの通信ポートの設定をします。		56
詳細設定	警報メールの送信設定をします。		57
警報メールを送信	メールアドレスやメールサーバーの設定をします。		57
ストレージ(管理)	内蔵のストレージをフォーマットします。		57
<b>インテリジェント分析</b>	検出条件の設定、顔登録、顔認識情報の表示などを行います。		58
顔検知	下記の8項目を設定します。		58
基本設定	顔・体温・マスクの検出条件の設定を行います。		58
設定を保存	専用サーバーとの接続設定をします。		60
警報のリンク	外部装置への信号出力条件を設定します。		60
アーミングスケジュール	認証制御のスケジュールを設定します。		61
顔画像をインポート	顔画像を本機に登録します。		61
顔データベース	本機に登録された顔画像のデータベースを表示します。		62
顔認識の記録	本機で検出された検出者情報を表示します。		63
Wiegand	ウィーガンプロトコルの設定をします。		64

## システムの管理



概要

言語設定、時間設定、ユーザー設定などの基本的な設定を行います。

システムの設定 | システム情報の表示・設定 / 日付と時刻を設定します。 ※【 】内は初期値

### 全般情報

- **デバイス名、言語設定などの設定を行います。** 設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。
- **デバイス名**  
本機のデバイス名を設定します。
- **製品情報**  
本機の製品番号を表示します。※変更できません。
- **言語**  
表示、音声の言語を設定します。  
設定値：【日本語】 / 他10カ国言語
- **ファームウェアのバージョン**  
本機のファームウェアバージョンを表示します。※変更できません。
- **S/N**  
本機のシリアルナンバーを表示します。※変更できません。
- **チャンネル**  
本機のチャンネル番号を表示します。※変更できません。
- **CloudSEE ID**  
本機のCloudSEE IDを表示します。※変更できません。
- **CloudSEEのステータス**  
本機のCloudSEEのステータスを表示します。※変更できません。
- **警報入力**  
本機のAlarm Inコネクタ数を表示します。※変更できません。  
関連項目 「設置する | ALARM INコネクタ (33ページ)」
- **警報出力**  
本機のAlarm Outコネクタ数を表示します。※変更できません。  
関連項目 「設置する | ALARM OUT1/2コネクタ (33ページ)」
- **アルゴリズムのバージョン**  
本機のアルゴリズムバージョンを表示します。※変更できません。
- **モデルのバージョン**  
本機のモデルバージョンを表示します。※変更できません。
- **ISPのバージョン**  
本機のISPバージョンを表示します。※変更できません。
- **ディスプレイスリープ時間**  
本機のモニター画面がスリープ状態に移行するまでの時間を設定します。  
設定値：【常にオン】 / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 25分 / 30分
- **Netcomプライベートプロトコル**  
Netcomプライベートプロトコルを設定します。  
設定値：【はい】 / いいえ

## 設定する(つづき)

## 日付と時刻

●本機の日時設定(現在時刻設定)を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

## ■インターネット時刻

日時をNTPサーバーから自動で取得する場合にチェックします。(【有効】)

## ■タイムゾーン

時間帯(標準時)を設定します。

設定値:協定世界時(【UTC+09:00】)

## ■サーバー

NTPサーバーを設定します。※手動チェック時は変更できません。

設定値:NTPサーバーアドレス(【ntp.fudan.edu.cn】)

## ■同期インターバル(時)

NTPサーバーから日時を自動取得する間隔を設定します。

設定値:1~200時間(【24】)

## ■手動

日時を手動で設定する場合にチェックします。(【無効】)

設定値:「時刻を設定」のカレンダーアイコンをクリックして選択

## 日付と時刻画面

日付と時刻

タイムゾーン: UTC+08:00

インターネット時刻 サーバー: ntp.fudan.edu.cn

同期インターバル(時): 24 (1~200)

手動 時刻を設定: 2020-09-26 12:30:12

カレンダーアイコン

メンテナンス | 本機のファームウェアのアップデートや再起動スケジュールを設定します。※【 】内は初期値



## 概要

ファームウェアとは、本機に組み込まれたプログラムソフトウェアのことを指します。本機のファームウェアを最新バージョンに更新することを、ファームウェアのアップデートといいます。ファームウェアをアップデートすることで機能が追加されたり問題が修正されたりします。

## ⚠ 注意

- ・ファームウェアのアップデートは安定したネットワークに接続された状態で行ってください。ネットワークが不安定な状態で行うと、ファームウェアのアップデートに失敗し故障するおそれがあります。
- ・ファームウェアアップデートツール「Boot Update Tool」を実行するときはウイルス対策ソフトを停止し、ファイアーウォールをオフにした状態で実行してください。アップデートが正常に行われな原因となります。
- ・ファームウェアのアップデート中は、本機、並びにファームウェアのアップデートを実行するパソコン、およびルーターなどパソコンと本機を接続するためのネットワーク上の各装置の電源を切らないでください。
- ・ファームウェアの更新中は他の操作はできません。
- ・ファームウェアのアップデートを行うと、本製品が自動的に再起動します。本製品の再起動により、外部装置が誤動作しないことを確認の上、行ってください。

## ファームウェアのアップデートのしかた

ファームウェアのアップデートは「ウェブブラウザ」を使用してアップデートする方法と、ファームウェアアップデートツール「Boot Update Tool」を使用してアップデートする方法の2通りの方法があります。ご使用の環境に合わせてどちらの方法でファームウェアのアップデートを行ってください。

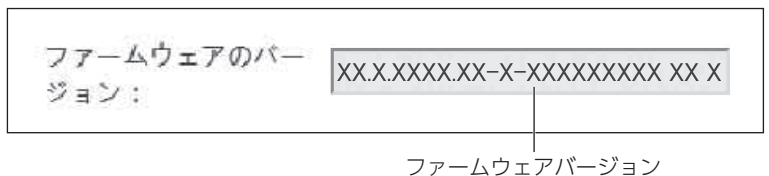
### 「ウェブブラウザ」を使用したファームウェアのアップデートのしかた

※ ウェブブラウザを使用してアップデートする際、一部のファームウェア（古いバージョン）では正常にアップデートできません。その場合は、ファームウェアアップデートツール「Boot Update Tool」（46ページ参照）を使用してアップデートを行ってください。

※ ウェブブラウザは、Windowsパソコンの「Google Chrome」または「Firefox」などをご使用ください。

#### 1 本機のファームウェアバージョンを確認する

※ 「システムの管理」⇒「システムの設定」⇒「ファームウェアのバージョン」でご確認ください。



#### 2 ファームウェアファイルを選択する

- ① バージョンファイルをファイル選択ボタンを押して選択する  
ファイル名 (例) : jvs3516dv300-v20-ver.bin …ファイル名に「-ver」が付きます。
- ② 更新ファイルをファイル選択ボタンを押して選択する  
ファイル名 (例) : jvs3516dv300-v20.bin

ファームウェア更新画面

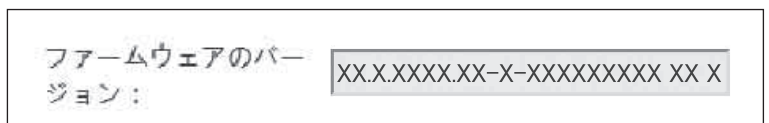


#### 3 更新ボタンを押す

- ファームウェアのアップデートが開始されます。
- ※ ファームウェアのアップデート中は、進行状況をバー表示でお知らせします。

#### 4 ファームウェアのアップデートが完了したら、正しくアップデートされていることを確認する

- ※ 「システムの管理」⇒「システムの情報」⇒「ファームウェアのバージョン」でご確認ください。
- ※ ファームウェアのアップデート完了後は、本製品と外部装置との動作確認を行ってください。





# 設定する(つづき)

## 「Boot Update Tool」を使用したファームウェアのアップデートのしかた

- ※ 「Boot Update Tool」と「ファームウェアファイル」は、弊社ホームページからダウンロードしてご使用ください。
- 「Boot Update Tool」を使用したファームウェアのアップデートのしかたについては、当社ホームページ「よくあるご質問」もあわせてご覧ください。URL: 「<https://aqua-has.com/support/faq/>」
- ☞ サポート ▶ よくあるご質問 ▶ その他業務用製品 ▶ 本製品の各種設定に関して

### 1 本機のファームウェアバージョンを確認する

※ 45 ページの手順 **1** に従って確認してください。

### 2 Windows パソコンで「Boot Update Tool.exe」を起動する

- 起動後、「OK」を押し、Language (言語) のポップアップメニューで「4.日本語」を選択してください。
- ※ 「Boot Update Tool」は管理者権限で実行してください。



### 3 ファームウェアディレクトリの「参照」ボタンでファームウェアが格納されているフォルダを選択する

- 「更新」にチェックが入っていることを確認してください。

### 4 「開始」ボタンを押し、本体の電源を「切」→「入」する

- ファームウェアのアップデートが開始されます。アップデート中は進捗状況をバー表示でお知らせします。

### 5 ファームウェアのアップデートが終わったら「Boot Update Tool.exe」を終了する

- 「ステータス」に「更新完了」と表示されればファームウェアアップデートの完了です。

※ ファームウェアアップデートの完了後、本体の電源を入れた状態で「Boot Update Tool.exe」を起動し続けると、再びアップデートが実行されます。アップデート完了後は、必ず「Boot Update Tool.exe」を終了するか、本体の電源を切ってください。

番号	IPアドレス	ステータス	進捗
01	192.168.0.2	データ送信中	3%
↓			
01	192.168.0.2	更新完了	100%

※ 「終了」ボタンを押すと、「更新プロセスが完了していません 終了しますか」と表示されますが、「OK」を押して終了してください。

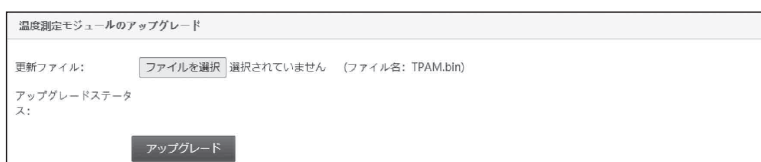
- 45 ページの手順 **1** に従って、ファームウェアが正しくアップデートされていることを確認してください。
- ※ ファームウェアのアップデート完了後は、本製品と外部装置との動作確認を行ってください。

### 温度測定モジュールのアップグレード

本製品の温度測定モジュールのアップグレードを行う場合に使用します。アップグレードを実行するには、「ファイルを選択」ボタンを押してアップグレードファイル「TPAM.bin」を選択し、「アップグレード」を押してください。

※ アップグレードファイル「TPAM.bin」は、弊社ホームページからダウンロードしてご使用ください。

温度測定モジュールのアップグレード画面



### ■自動再起動

本機を自動で再起動する曜日と時刻を設定します。

設定値(曜日)：【禁止】／毎日／毎週日曜日／毎週月曜日／毎週火曜日／毎週水曜日／毎週木曜日／毎週金曜日／毎週土曜日

設定値(時刻)：「00:00～23:00」まで1時間刻み(【01:00】)

※設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正常に処理されました」と表示されます。

### ■デバイスを再起動

本機をすぐに再起動します。

### ■工場出荷時の状態に戻す

本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。実行すると自動で再起動します。

※顔データベースや顔認識の記録データ、ログデータは消去されません。

再起動スケジューラー画面

再起動スケジューラー

自動再起動： 禁止 01:00

デバイスを再起動 工場出荷時の状態に戻す

保存

## セキュリティ | 本機にアクセスできる端末 (IPアドレス) を制限します。 ※【 】内は初期値

●設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正常に処理されました」と表示されます。表示を更新するときは「更新」を押してください。

### ■【制限なし】

制限しない場合にチェックします。

### ■制限

特定のIPアドレスを制限する場合はチェックし、IPアドレスを入力⇒「追加」を押します。IPアドレス制限リストに制限するIPアドレスが追加されます。

追加されたIPアドレスを削除する場合は、IPアドレス制限リストから目的のIPアドレスをチェック⇒「削除」を押します。IPアドレス制限リストからIPアドレスが削除されます。

設定値：制限するIPアドレス

### ■許可

特定のIPアドレスを許可する場合はチェックし、IPアドレスを入力⇒「追加」を押します。IPアドレス制限リストに許可するIPアドレスが追加されます。

追加されたIPアドレスを削除する場合は、IPアドレス制限リストから目的のIPアドレスをチェック⇒「削除」を押します。IPアドレス制限リストからIPアドレスが削除されます。

設定値：許可するIPアドレスを入力

### ■IPアドレス範囲

IPアドレスの範囲を入力する場合にチェックします。※チェックしない場合、終了IPアドレスは入力できません。

設定値：開始IPアドレス～終了IPアドレス

セキュリティ画面

IPアドレスの制限

制限なし  制限  許可

IPアドレス範囲 [ ] -- [ ]

追加 削除

IPアドレス制限リスト

<input type="checkbox"/>	開始IPアドレス	終了IPアドレス	ステータス
<input type="checkbox"/>			

更新 保存

## 設定する(つづき)

## ユーザー | 本機にログインできるユーザーを登録・設定します。

- 入力後「OK」を押すと「設定が保存されました」と表示され、ユーザーがユーザーリストに追加されます。追加したユーザーを削除する場合は、ユーザーリストから目的のユーザーをチェック→「削除」を押してください。ユーザーリストからユーザーが削除されます。表示を更新するときは「更新」を押してください。

## ■アカウント

追加するユーザー名(アカウント)を入力します。

設定値: 任意の半角英数字

※工場出荷時は「admin(管理者グループ)」が設定されています。adminユーザーは削除できません。

※「admin(管理者グループ)」にパスワードが設定されていない場合、新規アカウントを追加できません。下記の手順に従って新規アカウントを追加してください。

- 1 admin(管理者グループ)にパスワードを設定する
- 2 admin(管理者グループ)で再度ログインする
- 3 新規アカウントを追加する

## ■グループ

ユーザーが所属するグループを設定します。

設定値: 標準ユーザー … 一般権限を持つユーザーグループ

管理者 … 管理者権限を持つユーザーグループ

ゲスト … ゲスト権限を持つユーザーグループ

## ■説明

ユーザーの説明を入力します。

設定値: 任意の文字

## ■パスワード

パスワードを入力します。

設定値: 任意の半角英数字

※工場出荷時の状態では設定されていません。

## ■パスワードを確認

確認のため、パスワードを再入力します。

設定値: 任意の半角英数字

ユーザー画面

選択	ユーザー	グループ	説明
<input type="checkbox"/>	admin	管理者	

## ログ管理 | 本機のシステムログを表示します。 ※【 】内は初期値

- 表示を更新するときは、「更新」を押してください。ソート基準で表示方法を選択できます。

設定値: 【ページ番号】 … ページ単位で表示

日付… 日付ごとに表示

## 映像と音声



概要

映像と音声に関する設定を行います。

### 映像ストリーム | モニターの映像に関する設定を行います。 ※【 】内は初期値

●設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

※映像ストリームには「メインストリーム」と「サブストリーム」の2種類があります。それぞれ設定を行ってください。

#### ■コーデック

ビデオコーデックを設定します。

設定値：H264 / 【H265】

#### ■分解能

表示解像度を設定します。

設定値：【1920x1080】 / 1280x960 / 1280x720 / 960x540 / 768x432 / 720x576 / 720x480 / 704x576 / 640x480 / 352x288 / 368x208 ※サブストリーム【704x576】

#### ■FPS

フレームレートを設定します。

設定値：5~30 (【25】)

#### ■ビットレート制御

ビットレートの種類を設定します。

設定値：CBR / 【VBR】

#### ■品質

画質を設定します。

設定値：最高 / 良好 / 【中】 / 低 / 最低

#### ■ビットレート

ビットレート速度を設定します。

設定値：ビットレート速度 (単位: kbps) (【2048】 ※サブストリーム【682】)

#### ■スマートコーデック

スマートコーデックの動作を設定します。

設定値：有効 / 【シャットダウン】 / 自動

#### 映像ストリーム画面

メインストリーム			
コーデック:	H265	分解能:	1920*1080
FPS:	25	ビットレート制御:	VBR
品質:	中	ビットレート:	2048 Kbps
スマートコーデック:	シャットダウン		
サブストリーム			
コーデック:	H265	分解能:	704*576
FPS:	25	ビットレート制御:	VBR
品質:	中	ビットレート:	682 Kbps

設定する  
《設定・運用編》

### 音声ストリーム | 再生される音声に関する設定を行います。 ※【 】内は初期値

●設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

※「サンプリングレート」「ビット幅」「コーデック」は、インターフェースコネクタ (AUDIO OUT) に接続された外部機器への音声出力に有効な設定項目です。本体内蔵スピーカーへの音声出力には反映されません。

#### ■音声ストリームを有効にする

音声を出力する場合にチェックします。チェックを外すと音声が出力されません。(【有効】)

## 設定する(つづき)

- サンプルレート (※外部機器への音声出力設定)  
サンプルレートを設定します。  
※音声ストリームを有効にするにチェック時のみ設定できます。  
設定値:【8K】
- ビット幅 (※外部機器への音声出力設定)  
ビット幅を設定します。  
※音声ストリームを有効にするにチェック時のみ設定できます。  
設定値:【16bit】
- コーデック (※外部機器への音声出力設定)  
音声コーデックを設定します。  
※音声ストリームを有効にするにチェック時のみ設定できます。  
設定値:【G711U】/G711A
- 音声入力の調整  
インターフェースコネクタ (MIC IN) からの音声入力レベルを設定します。  
設定値:0~100 (【50】)  
関連項目 「設置する | MIC INコネクタ (34ページ)」
- 出力デバイス  
音声の出力先を設定します。  
設定値:【内蔵スピーカー】 … 本体内蔵のスピーカー  
外付けスピーカー … インターフェースコネクタ (AUDIO OUT) に接続された外部機器  
関連項目 「設置する | AUDIO OUTコネクタ (35ページ)」
- 値  
インターフェースコネクタ (AUDIO OUT) に出力する音声出力レベルを設定します。  
設定値:0~100 (【100】)

音声ストリーム画面

## ディスプレイ

- 概要**  
本体のモニター表示に関する設定を行います。

画像の設定 | 画像の調整 / 露出 / WDR / 昼間および夜間 / 詳細の設定をします。 ※【 】内は初期値

## 画像の調整

- **モニター表示画質を調整します。** 設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。
- **明るさ**  
モニター画面の明るさを設定します。  
設定値:0~255 (【128】)
- **コントラスト**  
モニター画面のコントラストを設定します。  
設定値:0~255 (【128】)
- **飽和度**  
モニター画面の飽和度を設定します。  
設定値:0~255 (【128】)
- **シャープネス**  
モニター画面のシャープネスを設定します。  
設定値:0~255 (【128】)
- **画像のスタイル**  
モニター画面の色合いを設定します。  
設定値:【標準】/鮮明/ソフトウェア

画像の調整画面

露出

●モニター表示 (露出) を調節します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

■露出方針

画像の露出を補正します。  
設定値：【自動】/HLC/BLC

■アンチフリッカー

ちらつき除去  
設定値：【シャットダウン】/50Hz/60Hz

■最大露出時間

最大露出時間を設定します。  
設定値：1/3~1/100000 (【1/3】)

■最小露出時間

最小露出時間を設定します。  
設定値：1/3~1/100000 (【1/100000】)

露出画面

WDR

●ワイドダイナミックレンジを設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。  
設定値：DWDR / 【シャットダウン】

昼間および夜間

●モニター表示を昼と夜で切り替えて表示します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

■モードを切り替える

表示モードを設定します。色のスケジューリングを選択すると、カラー表示にする時刻を設定できます。  
設定値：【自動】/カラー/白黒/色のスケジューリング  
開始時刻~終了時刻 ※色のスケジューリングを選択時に有効

詳細

●特殊な表示設定をします。  
設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

■低フレームナイトビジョン

低フレーム暗視モードに切り替える場合はチェックします。(【有効】)

■デフォッグ

霧や雨などによる影響 (低コントラスト映像) を補正します。(【無効】)

詳細画面

# 設定する(つづき)

OSD | モニターに表示する文字やフォントの設定をします。 ※【 】内は初期値

## 基本設定

●モニターに表示される時刻などのフォント設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

■大きいフォント  
表示する文字サイズを大きくする場合はチェックします。  
（【有効】）

■名前の位置  
登録者名を表示する位置を設定します。  
設定値：上端 / 【下端】 / 右上 / 右下 / 隠す

■時刻の位置  
時刻を表示する位置を設定します。  
設定値：上端 / 下端 / 【右上】 / 右下 / 隠す

■時間形式  
時刻の表示のしかたを設定します。(Y:年/M:月/D:日)  
設定値：YYYY-MM-DD / 【MM/DD/YYYY】 / DD/MM/YY

基本設定画面

## 詳細設定

●モニターに任意の文字を表示する場合に設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。  
設定値：最大行数=8行、最大文字数=48文字までの任意の文字

■表示位置設定画面  
任意の文字を表示する位置を設定します。  
設定値：赤枠をドラッグ（【左上隅】）

■フォントサイズ  
文字サイズを設定します。  
設定値：1~55（【32】）

■テキストの整列  
行の揃え位置を設定します。  
設定値：【左揃え】 / 右揃え

詳細設定画面

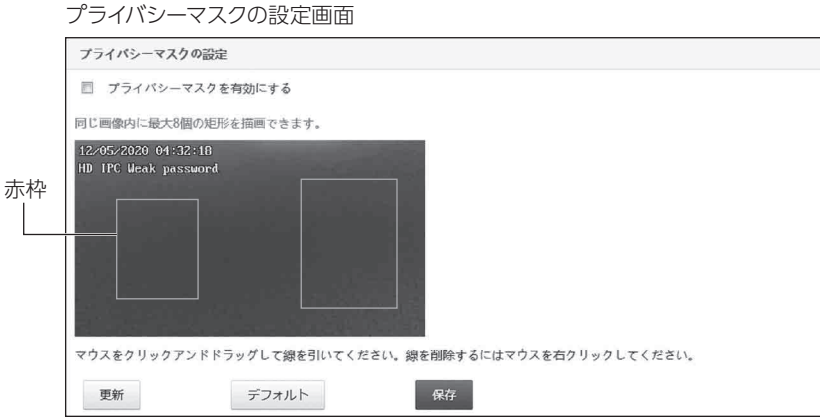
文字入力エリア



**プライバシーマスクの設定 | モニター表示の一部を非表示にします。 ※【 】内は初期値**

- モニターに表示される画像の任意のエリアを最大8エリアまでマスク処理(非表示)にします。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。表示を更新するときは「更新」を押してください。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。
- プライバシーマスクを有効にする  
マスク処理を設定する場合はチェックします。(【無効】)

- マスク処理設定画面  
マスクをするエリアを、マウスをドラッグして赤枠で指定します。  
設定値：ドラッグで指定した赤枠のエリア (最大 8 エリアまで) ※右クリックで赤枠消去 (【マスク処理無し】)



**警報**

- 👉 (概要) 監視モード機能 (動体検知機能) に関する設定を行います。

**動体検知 | 撮影された映像の動きや変化を監視する動体検知モードの設定をします。 ※【 】内は初期値**

- 動体検知を有効にする  
動体検知モードに移行する場合はチェックします。(【無効】)

(基本設定)

- 動体検知エリアの設定をします。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。表示を更新するときは「更新」を押してください。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。
- 感度  
動体検知感度を設定します。  
設定値：1%~100% (【60%】)

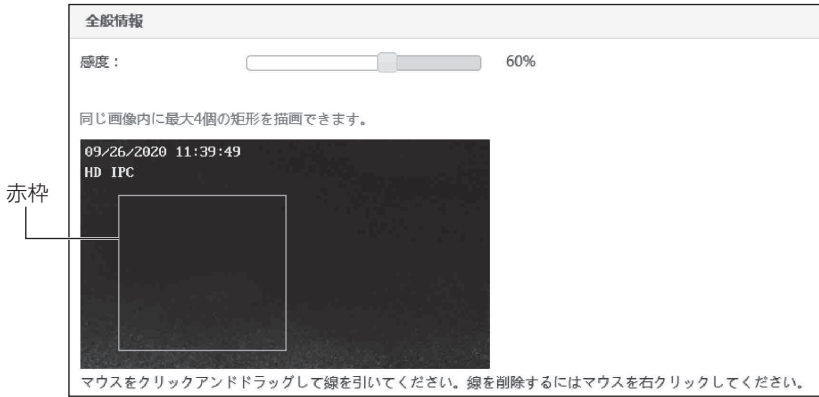


# 設定する(つづき)

## ■動体検知エリア画面

動体検知エリアを、マウスをドラッグして赤枠で指定します。(【動体検知エリア指定無し】)  
 設定値：ドラッグで指定した赤枠のエリア(最大4エリアまで) ※右クリックで赤枠消去

動体検知画面



## 警告のリンク

●動体検知モード中の本機の動作を設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

■警告メールを送信  
 チェック時、クライアントへ警告メールを送信します。(【有効】)

■警告期間  
 録画する時間を設定します。(【10秒】)  
 設定値：3秒～100秒

警告のリンク画面

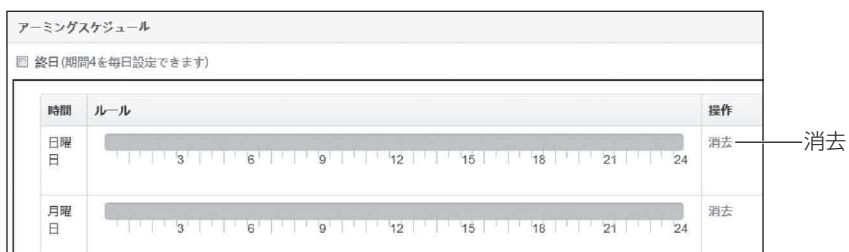


## アーミングスケジュール

●動体検知モードに自動で移行するスケジュール(日時)を設定します。「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

■終日  
 常に動体検知モードで使用する場合はチェックします。  
 チェックを外すと、1週間の日時でスケジュール管理できます。  
 設定値：(曜日) 日曜日～土曜日(【終日】)  
 (時刻) 00:00～23:59 ※時間指定は1日4期間まで  
 ※設定したスケジュールを取り消す場合は、消去を押してください。

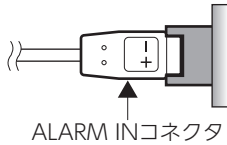
アーミングスケジュール画面



**警報入力 | 監視中の入力信号に関する設定をします。 ※【 】内は初期値**

- 警報入力を有効にする（【有効】）  
インターフェースコネクタ (ALARM IN) から警報信号を入力する場合はチェックします。  
関連項目 [「設置する | ALARM INコネクタ \(33ページ\)」](#)

- 緊急警報 (警報スケジュールは無効になります) (【無効】)  
警報信号を設定されたスケジュールに関係なく入力する場合はチェックします。



**警報リンク**

- 警報信号を入力した場合の動作を設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

- 警報メールを送信 (【有効】)  
クライアントへ警報メールを送信します。

警報リンク画面

- 警報期間  
録画する時間を設定します。(【10秒】)  
設定値: 3秒~100秒

- 警報モード (入力)  
警報モードの入力設定をします。  
設定値: 【オープン】/クローズ

**アーミングスケジュール**

- 警報信号を入力するスケジュール (日時) を設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

- 終日  
常に警報信号を入力する場合はチェックします。  
チェックを外すと、1週間の日時でスケジュール管理できます。  
設定値: (曜日) 日曜日~土曜日 (【終日】)  
(時刻) 00:00~23:59 ※時間指定は1日4期間まで  
※設定したスケジュールを取り消す場合は、消去を押してください。

アーミングスケジュール画面

時間	ルール	操作
日曜日	[Timeline: 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24]	消去
月曜日	[Timeline: 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24]	消去

## 設定する(つづき)

## ネットワーク



概要

ネットワークに関する設定を行います。

基本設定 | TCP/IP / ポート管理の設定をします。 ※【 】内は初期値

## TCP/IP

●本機のIPアドレスに関する設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

## ■DHCP (【有効】)

IPアドレスを自動割り当て機能を有効にする場合はチェックします。

IPアドレスを手動で設定する場合はチェックを外し、下記の「IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/DNS」を設定してください。

## ■IPアドレス

本機のIPアドレスを入力します。

※DHCPが有効になっている場合入力できません。

## ■サブネットマスク

サブネットマスクを入力します。

※DHCPが有効になっている場合入力できません。

## ■デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを入力します。

※DHCPが有効になっている場合入力できません。

## ■DNS

DNSを入力します。

※DHCPが有効になっている場合入力できません。

## ■IPアドレスの自己適応 (【無効】)

自己割り当てIPアドレスを有効にする場合はチェックします。

## ■自動オンライン/オフライン (【無効】)

IPアドレスを自動でオンライン/オフラインに切り替える場合はチェックします。

## ■ロックするIPアドレス (【無効】)

IPアドレスをロックする場合はチェックします。

## ■MAC

本機のMACアドレスを表示します。

TCP/IP画面

TCP/IP	
<input checked="" type="checkbox"/> DHCP	<input type="checkbox"/> IPアドレスの自己適応
<input type="checkbox"/> 自動オンライン/オフライン	<input type="checkbox"/> ロックするIPアドレス
IPアドレス:	<input type="text" value="192.168.0.103"/>
サブネットマスク:	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイ:	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
DNS:	<input type="text" value="192.168.0.1"/>
MAC:	<input type="text" value="e0:62:90:07:2c:ca"/>
<input type="button" value="デフォルト"/> <input type="button" value="保存"/>	

ポートの管理画面

ポート管理	
CloudSEEオンラインポート:	<input type="text" value="0"/>
CloudSEE転送ポート:	<input type="text" value="18320"/>
HTTPポート:	<input type="text" value="80"/>
RTSPポート:	<input type="text" value="8554"/>
<input type="button" value="デフォルト"/> <input type="button" value="保存"/>	

●ネットワーク通信をする際のポートの設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

## ■CloudSEEオンラインポート

CloudSEEオンラインポートを設定します。(【0】)

## ■CloudSEE転送ポート

CloudSEE転送ポートを設定します。(【18320】)

## ■HTTPポート

HTTPポートを設定します。(【80】)

## ■RTSPポート

RTSPポートを設定します。(【8554】)

## 詳細設定 | 警報メールの送信設定をします。 ※【 】内は初期値

### 警報メールを送信

●本機がEメールを自動で送信するための設定を行います。設定変更後は、「同意する プライバシーポリシー」にチェックし、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。設定を初期状態に戻すときは「デフォルト」を押してください。

※「同意する プライバシーポリシー」にチェックが入っていない場合保存できません。

●設定後、テストメールを送信する場合は、「テスト」を押してください。

※本設定は、動体検知を目的とした自動メール送信設定ですが、「異常温度」・「マスク非着用」を検知した場合は、動体検知の有無に関わらず、メールが自動的に送信されます。

●警報メールの設定について、詳しくは当社ホームページをご参照ください。

🗨️ サポート ▶ よくあるご質問 ▶ その他業務用製品 ▶ 本製品の各種設定に関して ▶ 顔認証端末からアラームメールを送信したい

URL: 「<https://aqua-has.com/support/faq/>」

#### ■メール送信元

送信者(本機)のEメールアドレスを入力してください。(【ipcmal@163.com】)

#### ■SMTPサーバー

SMTPサーバーを入力してください。(【smtp.163.com】)

#### ■ユーザー名

ユーザー名(メール送信アカウント)を入力してください。(【ipcmal】)

#### ■パスワード

パスワード(メール送信パスワード)を入力してください。

#### ■SMTP ポート

SMTP ポート番号を入力してください。(【25】)

#### ■暗号化

暗号化送信の種類を設定してください。

設定値:【None】/SSL/TLS

#### ■受信者1~4

メール受信者(送信先)のEメールアドレスを入力してください。

設定値: Eメールアドレス(最大4件)

#### 警報メールを送信画面

メール送信元:	<input type="text" value="ipcmal@163.com"/>	SMTP サーバー:	<input type="text" value="smtp.163.com"/>
ユーザー名:	<input type="text" value="ipcmal"/>	パスワード:	<input type="password" value="*****"/>
SMTP ポート:	<input type="text" value="25"/>	暗号化:	<input type="text" value="None"/>
受信者1:	<input type="text"/>	受信者2:	<input type="text"/>
受信者3:	<input type="text"/>	受信者4:	<input type="text"/>

同意する プライバシーポリシー

テスト      デフォルト      保存

## ストレージ



### 概要

本機内蔵のストレージをフォーマットします。ストレージをフォーマットするとすべての保存データ、ログデータが消去されます。

## 管理

●フォーマットするストレージにチェックし、「フォーマット」を押してください。表示を更新するときは「リストを更新」を押してください。

## 設定する(つづき)

## インテリジェント分析



概要

検出条件の設定、顔登録、顔認識情報の表示などを行います。

## 顔検知 ※【 】内は初期値

## 基本設定

- 検出条件の設定、外部ソフトウェアへのアップロード設定、顔登録などを行います。**設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。
- 顔をマーク（【有効】）**  
顔を識別する場合はチェックします。
- VMSにアップロード（【無効】）**  
検出記録を外部ソフトウェア「CMS-9100」にアップロードする場合はチェックします。
- 識別データを保存（【有効】）**  
検出者の保存条件を設定する場合はチェックしてください。  
設定値：なし  
高温検知  
【すべて】
- 検知モード**  
異常と判断（警報発生）する場合の検出条件を設定します。  
設定値：顔認識（【無効】）  
生体検知（【無効】）  
温度検知（【有効】）  
マスク検知（【有効】）
- 保存期間**  
検出情報を保存する期間を設定します。  
設定値：1～30日（【未入力】）
- 温度単位**  
温度単位を設定します。※検出条件の体表面温度測定が有効な場合のみ  
設定値：【摂氏（℃）】／華氏（°F）
- 高温しきい値**  
異常温度として検知する最低温度を設定します。※検出条件の体表面温度測定が有効な場合のみ  
設定値：任意の温度（0～100℃、0.1℃または0.1°F刻み）（【37.5℃】）
- 低温しきい値**  
寒冷地など、極端に気温が低い環境で使用すると体温を低く検出する場合があります。その場合は誤検知防止のため、異常温度として検知する最低温度を設定できます。異常温度を検出すると「低温です、再測定してください」と表示と音声でお知らせします。  
※通常環境では設定を変更しないでください。  
設定値：任意の温度（0～100℃、0.1℃または0.1°F刻み）（【30℃】）
- 温度補正**  
温度補正を設定します。※検出条件の体表面温度測定が有効な場合のみ  
➡測定した温度が継続的に偏りがある場合、補正值（測定した温度と実際の温度の差）を入力し、測定結果に反映させます。  
設定値：-1.5℃～1.5℃の範囲／29.3°F～33.3°Fの範囲（0.1℃または0.1°F刻み）（【0℃】）
- 顔画像の品質**  
検出記録に表示される検証結果の顔画像品質を変更できます。  
設定値：1～99（【80】）
- 顔画像の最小ピクセル**  
検出記録に表示される検証結果の顔画像の最小表示ピクセル数を変更できます。  
設定値：10～200（【40】）

## ■感度

顔認識感度を変更します。 ※推奨値は「2」

➡感度を低く調整すると、情報量の少ない顔画像（横顔など）の顔は認識されません。

設定値：0～9（【4】）

## ■比率をキャプチャー

撮影する画面の割合を設定します。

➡検出記録として、顔だけ撮るか、全画面を撮るかを設定できます。

設定値：0%～150%（【10%】）

## ■認識しきい値

顔認証の際、顔データベースと比較したときの類似性（一致率）の高さを設定します。 ※推奨値は75

➡値が高すぎると、高い類似性が求められ、同人物でも少しの差異で認識できなくなります。

値が低すぎると、類似性の高い顔（例えば双子など）が正しく認識されない可能性があります。

設定値：0～100（【75】）

### 顔検知画面

顔検知	
<input checked="" type="checkbox"/> 顔検知	
<input checked="" type="checkbox"/> 顔をマーク	
<input type="checkbox"/> VMSにアップロード	
<input checked="" type="checkbox"/> 識別データを保存	すべて ▼
検知モード： <input type="checkbox"/> 顔認識 <input type="checkbox"/> 生体検知 <input checked="" type="checkbox"/> 温度検知 <input checked="" type="checkbox"/> マスク検知	
保存期間：	▼
温度単位：	摂氏 ▼
高温しきい値：	37.5 ▲▼ °C
低温しきい値：	30.0 ▲▼ °C
温度補正：	0.0 ▲▼ °C
顔画像の品質：	80
顔画像の最小ピクセル：	40
感度：	4
比率をキャプチャー：	10%
認識しきい値：	75

保存

検出条件

異常温度の最低値

## 設定する(つづき)

### 設定を保存

- 専用サーバーへアップロードするための設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。

### ■プロトコルをアップロード

アップロードプロトコルを設定します。

設定値: Deepcam/Sunywo/【Aiwei】/Jovision/Sunywo2

### ■顔画像アップロード先のHTTPアドレスを取得(【無効】)

顔画像アップロード用のHTTPサーバーを登録する場合はチェックし、下記の項目を入力してください。

設定値: <HTTPサーバー> HTTPサーバーアドレスを入力

<HTTPポート> HTTPポートを入力

<アップロードパス> アップロードパス(階層)を入力

<アカウント> アカウントを入力

<パスワード> アカウントを入力

### ■ハートビート(【無効】)

ハートビートサーバー(監視サーバー)を登録する場合はチェックし、下記の項目を入力してください。

設定値: <ハートビートサーバー> ハートビートサーバーアドレスを入力

<ハートビートポート> ハートビートポートを入力

<ハートビートパス> ハートビートパス(階層)を入力

<ハートビートインターバル> 監視間隔を入力

### ■QRコードレポートアドレス(※本機能は現在ご使用いただけません。)

QRコードレポートアドレスを設定します。

設定値: アドレスを入力(【未入力】)

### 警報のリンク

- 警報信号を外部装置へ出力する条件を設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。

設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。

### ■警報出力1、または2(警報出力1、2とも【無効】)

インターフェースコネクタ(ALARM OUT1、または2)へ警報信号を出力する場合は、警報出力を有効にするにチェックします。

※57ページの「警報メールを送信」機能が設定されている場合、警報信号の出力とともに警報メールも送信されます。

[関連項目](#)  「詳細設定 | 警報メールを送信(57ページ)」

### ■警報の種類1、または2

インターフェースコネクタ(ALARM OUT1、または2)へ出力する警報信号の種類を設定します。

設定値: 【高温警報】 … 異常温度警報信号を出力します。

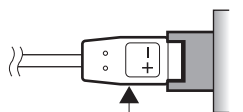
アクセス制御 … 自動ドアなどの制御信号を出力します。

高温/マスクなし … 異常温度かつマスク非着用の警報信号を出力します。

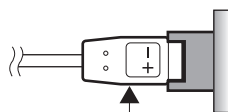
### ■警報期間1、または2

インターフェースコネクタ(ALARM OUT1、または2)へ出力する警報信号の継続時間を設定します。

設定値: 2秒~55秒(警報期間1、2とも【2秒】)



ALARM OUT1コネクタ



ALARM OUT2コネクタ

[関連項目](#)  「設置する | ALARM OUT1/2コネクタ(33ページ)」

## アーミングスケジュール

- 警報モードに自動で移行するスケジュール (日時) を設定します。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。

### ■ 終日 (【無効】)

常に警報モードで使用する場合はチェックします。  
 チェックを外すと、1週間の日時でスケジュール管理できます。  
 設定値：(曜日) 日曜日～土曜日

(時刻) 00:00～23:59 ※時間指定は1日4期間まで  
 ※設定したスケジュールを取り消す場合は、消去を押してください。

アーミングスケジュール画面 月曜日に2期間警報モードに移行する場合

## 画像をインポート

- 本機に顔画像をインポートして顔データベースに登録します。

### ■ インポートできる画像について

画像形式	JPEG形式
画像サイズ	512KB未満
画像解像度	最小解像度：30×30／最大解像度：960×960
ファイル名	登録者名_ピクチャー番号_性別.jpg

↑ 「男性」または「女性」  
 ↑ ピクチャー番号 (ID) は半角数字  
 ※ファイル名はアップロード後でも変更できます。

### ■ 顔画像のアップロードのしかた

#### 1 「画像をアップロード」 を押し、アップロードする画像を選択する

- リストにアップロードする画像が表示されます。
- ※ 複数の画像を選択すると、一度にアップロードできます。
- ※ リストから画像を削除したい場合は、「消去」を押してください。



# 設定する(つづき)

## 2 「ホワイトリストをアップロード」を押す

- 画像のアップロードが開始されます。
  - 画像リストのStatusに「**正しく処理されました**」と表示されたらアップロード完了です。
- ※ アップロードを途中で中止する場合は、「**停止**」を押してください。

画像をインポート画面

画像をアップロード

説明:

- 1.画像形式はjpgで、画像サイズは512KB未満でなければなりません
- 2.アップロードする画像には次の形式で名前をつけてください: 名前\_ID\_性別.jpg
- 3.アップロード画像サイズ: 最大960x960、最小30x30。

顔画像を選択:

番号	顔画像	名前	ID	性別	ステータス
1		<input type="text" value="相田"/>	<input type="text" value="312"/>	女性	<span style="background-color: #ccc; padding: 2px;">正しく処理されました</span>

### 顔データベース

- **顔データベースに登録された登録者を一覧表示します。**
- 登録者を検索するには、入力フォームに名前またはIDを入力して「**検索**」を押してください。
- 登録者顔画像下の「**編集**」を押すと、名前/ID/性別を編集できます。
- 登録者を削除する場合は「**削除**」を押してください。

入力フォーム                      検索ボタン

顔データベース画面

顔データベース

社長  
001

編集 削除

K.ozone  
068

編集 削除

T.Yamaguchi  
038

編集 削除

川上  
073

編集 削除



nakashima  
117

編集 削除

↑ 登録者

前へ    次へ    1 ページ    5個のデータ

## 顔認識の記録
















- 本機により検出された検出者リストを表示します。
- 本検出者の情報には顔画像、名前（登録者のみ）、ID（登録者のみ） 検出日時、登録者との類似度、検知温度が含まれます。
- 検出者情報を集計・分析するには、入力フォームにキーワードを入力し、「検索」を押してください。入力されたキーワードに基づき検出者がリスト表示されます。
- 検出者リストをエクセルファイルとして書き出す場合は、「エクスポート」を押してください。エクセルファイルが書き出されます。  
※下記の「**エクスポート機能について**」をご参照ください。
- リスト内の検出者を顔データベースに登録するには「」を押し、名前/ID/性別を入力後「OK」を押してください。顔データベースに登録されます。「顔データベース (62ページ)」参照
- リストから削除する場合は「」を押してください。

顔認識の記録画面

集計・分析入力フォーム

検索ボタン

エクスポートボタン

番号	顔画像	名前	ID	時間	類似度	温度(°C)	操作
1		川上	073	2020-08-26 08:55:02	0%	35.8	 
2		nakashima	117	2020-08-26 08:54:16	0%	35.9	 
3		社長	001	2020-08-26 08:49:32	0%	36.1	 
4		T.Yamaguchi	038	2020-08-26 08:45:20	0%	35.9	 
5		K.ozone	068	2020-08-26 08:31:11	0%	36.1	 

顔画像

名前

ID

検出日時

登録者との類似度


検知温度

### エクスポート機能について

- エクスポートボタンを押すと、検出者リストがダウンロードフォルダ（デフォルトの保存場所）にエクセルファイルとして保存されます。

※保存されるエクセルファイルのファイル名は「Google Chrome」の場合「Record.xls、Record(1).xls」などのファイル名で、「Firefox」の場合「\*\*\*\*\*.xls（\*は8桁の半角英数字）」のファイル名で保存されます。

※保存されたエクセルファイル内の「顔画像」は、本製品内部に記録された画像をリンクファイルとして表示しています。そのため本製品の電源が切れる、ネットワークが切れる、IPアドレスが変わるなどがあった場合、表示されない、または正常に表示されません。詳しくは、当社ホームページ「よくあるご質問」をご覧ください。

「故障かな?と思ったとき (67ページ)」参照



ウェブブラウザ画面

Google Chrome のダウンロードファイル

Firefox のダウンロードファイル

## 設定する(つづき)

### Wiegand

●ウィーガンドプロトコルの設定を行います。設定変更後は、「保存」を押してください。設定が完了すると「正しく処理されました」と表示されます。

#### ■デバイスID

デバイスIDを設定します。

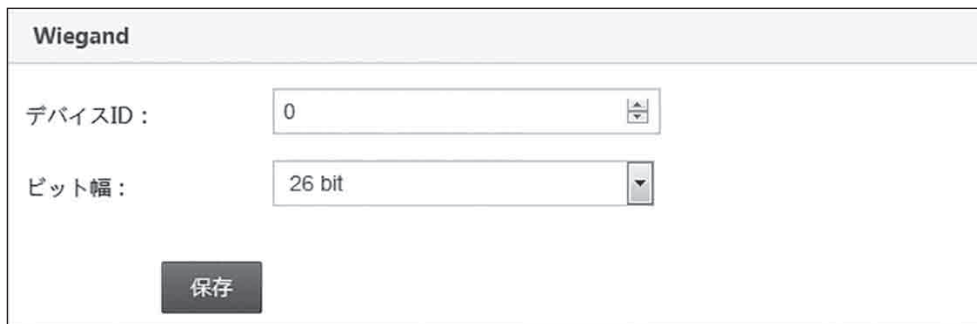
設定値: ID番号 (【0】)

#### ■ビット幅

ビット幅を設定します。

設定値: 【26bit】 / 34bit

Wiegand画面



関連項目 [「設置する | WIEGAND OUTコネクタ \(34ページ\)」](#)

# モニター表示・音声アナウンス一覧

※すべて認証された場合の表記  
(体温:○ マスク:○ 本人:○)

## ● 認証条件

体表面温度測定：する | マスク：着用 | 顔認証：する

(体温:○ マスク:○ 本人:○)

正常温度です：36.5℃

企画部 高橋美香  
061  
認証成功です

正常温度です。  
認証成功です。

(体温:○ マスク:× 本人:○)

正常温度です：36.5℃

企画部 高橋美香  
061  
マスクを着用してください

正常温度です。  
マスクを着用してください。

(体温:○ マスク:○ 本人:×)

正常温度です：36.5℃

認証失敗です

正常温度です。  
認証失敗です。

(体温:○ マスク:× 本人:×)

正常温度です：36.5℃

マスクを着用してください

正常温度です。  
マスクを着用してください。

(体温:× マスク:○ 本人:○)

基準値を超えた温度です：38.1℃

企画部 高橋美香  
061  
検証成功です

基準値を超えた温度です。

(体温:× マスク:× 本人:○)

基準値を超えた温度です：38.1℃

企画部 高橋美香  
061  
マスクを着用してください

基準値を超えた温度です。

(体温:× マスク:× 本人:×)

基準値を超えた温度です：38.1℃

マスクを着用してください

基準値を超えた温度です。

## ● 認証条件

体表面温度測定：する | マスク：着用 | 顔認証：しない

(体温:○ マスク:○ 本人:—)

正常温度です：36.5℃

正常温度です。

(体温:○ マスク:× 本人:—)

正常温度です：36.5℃

マスクを着用してください

正常温度です。  
マスクを着用してください。

(体温:× マスク:○ 本人:—)

基準値を超えた温度です：38.1℃

認証失敗です

基準値を超えた温度です。

(体温:× マスク:× 本人:—)

基準値を超えた温度です：38.1℃

マスクを着用してください

基準値を超えた温度です。

## ● 認証条件

体表面温度測定：する | マスク：非着用 | 顔認証：する

(体温:○ マスク:— 本人:○)

正常温度です：36.5℃

企画部 高橋美香  
061  
認証成功です

正常温度です。  
認証成功です。

(体温:○ マスク:— 本人:×)

正常温度です：36.5℃

確認できませんでした

正常温度です。  
認証失敗です。

(体温:× マスク:— 本人:○)

基準値を超えた温度です：38.1℃

企画部 高橋美香  
061  
認証成功です

基準値を超えた温度です。

(体温:× マスク:× 本人:—)

基準値を超えた温度です：38.1℃

認証失敗です

基準値を超えた温度です。

## ● 認証条件

体表面温度測定：しない | マスク：着用 | 顔認証：する

(体温:— マスク:○ 本人:○)

正常温度です：36.5℃

企画部 高橋美香  
061  
認証成功です

認証成功です。

(体温:— マスク:○ 本人:×)

正常温度です：36.5℃

認証失敗です

認証失敗です。

(体温:— マスク:× 本人:○)

企画部 高橋美香  
061  
マスクを着用してください

マスクを着用してください。

(体温:— マスク:× 本人:×)

認証失敗です

マスクを着用してください。

# 故障かな？と思ったとき

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

故障かな？と思ったとき

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
マスク着用の有無や体表面温度が検知されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マスク着用の有無検知設定、体表面温度測定設定が無効になっていませんか。</li> <li>➔マスク着用の有無検知設定、体表面温度測定設定を有効にしてください。</li> <li>設定項目：インテリジェント分析➔顔検知➔基本設定➔検知モード</li> </ul>	58
体表面温度を測定すると、異常な温度を表示する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品に熱を発するものを近づけたり、直射日光の当たる場所で使用していませんか。</li> <li>➔熱を発するものを近づけたり、直射日光の当たる場所で使用しないでください。</li> <li>※本製品と被検者との距離・範囲について詳しくは、40ページをご参照ください。</li> </ul>	7・20 40
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●製品本体や環境温度が稼働温度範囲外になっていませんか。</li> <li>➔稼働温度範囲は15℃～35℃です。この温度範囲以外では温度測定誤差が大きくなります。</li> </ul>	69
音声アナウンスが流れない、音量が小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オーディオ出力設定が無効になっていたり、音量が小さくなっていませんか。</li> <li>➔オーディオ出力を適切に設定してください。</li> <li>設定項目：映像と音声➔音声ストリーム。</li> </ul>	49
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スピーカー部分がふさがれていませんか。</li> <li>➔スピーカー部分をふさいでいる原因を取り除いてください。</li> </ul>	12
自動ドアなどの外部装置が適切に動作しない または、ランプやブザーなどの外部装置が適切に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●警報出力1（または2）が適切に設定されていますか。</li> <li>➔以下の設定をご確認ください。</li> <li>・警報出力1（または2）を有効にし、警報の種類を選択する</li> <li>・警報期間1（または2）を選択する</li> <li>・警報期間1（または2）の信号出力時間を設定する</li> <li>設定項目：インテリジェント分析➔顔検知➔警報のリンク</li> <li>・警報モードに移行するアーミングスケジュールを確認する</li> <li>設定項目：インテリジェント分析➔顔検知➔アーミングスケジュール</li> </ul>	60・61
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●外部装置が故障していませんか。</li> <li>➔外部装置の管理者にご相談ください。</li> </ul>	-
表示や音声が他言語で表示されたり、アナウンスされる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言語設定が他言語に設定されていませんか。</li> <li>➔ご使用の言語に設定してください。</li> <li>設定項目：システム管理➔システム設定➔全般情報➔言語</li> </ul>	43
登録・保存されていた情報がすべて消えた	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保存期間が設定されていませんか。</li> <li>➔本製品は、プライバシー保護のため、設定された期間が経過すると自動的にすべての情報を消去します。</li> <li>自動的に消去したくない場合は、保存期間を無効（未入力）に設定してください。</li> <li>設定項目：インテリジェント分析➔顔検知➔基本設定➔保存期間</li> </ul>	58

## 故障かな？と思ったとき(つづき)

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
ウェブブラウザで設定・閲覧できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [Microsoft Edge] [Internet Explorer] などは、一部の機能が正常に設定できない場合があります。</li> <li>➔ [Google Chrome] [Firefox] などをご使用ください。</li> </ul>	41
エクスポートしたエクセルファイル(顔認証の記録)に顔画像がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保存されたエクセルファイル内の「顔画像」は、本製品内部に記録された画像をリンクファイルとして表示しています。本製品と切り離してファイル管理を行うときは、本製品専用のアプリケーションソフト [CMS-9100] を弊社ホームページからダウンロードしてご使用ください。</li> <li>➔ 詳しくは、当社ホームページ「よくあるご質問」をご覧ください。 URL: 「 <a href="https://aqua-has.com/support/faq/">https://aqua-has.com/support/faq/</a> 」</li> <li>☞ サポート ▶ よくあるご質問 ▶ その他業務用製品 ▶ 故障かなと思ったら</li> </ul>	63
顔認証ができない、顔認証速度が遅い、顔認証に失敗する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 顔認証機能が有効になっていますか。</li> <li>➔ 顔認証機能を有効にしてください。 設定項目: インテリジェント分析➔顔検知➔基本設定➔検知モード</li> </ul>	58
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認証者の顔が登録されていますか。</li> <li>➔ 認証者の顔を登録してください。 設定項目: インテリジェント分析➔顔検知➔顔画像をインポート</li> </ul>	61
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 顔が顔認識マーカールの範囲に入っていますか。</li> <li>➔ 顔が顔認証マーカールの範囲に入るように移動してください。</li> </ul>	40
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体が適切な向きや高さで設置されていますか。</li> <li>➔ 本体の向きや高さを調節し、適切に設置してください。</li> </ul>	22・24 28
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 顔が覆われていたりしていませんか。</li> <li>➔ 以下の項目を確認し、原因を取り除いてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・下を向いたり横を向いたりしている</li> <li>・サングラスや帽子をつけている</li> <li>・顔が前髪やひげなどで覆われている</li> <li>・手やハンカチなどで顔を覆っている</li> </ul> </li> </ul>	40
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体やカメラに直射日光が当たっていませんか。</li> <li>➔ 直射日光の当たる場所で使用しないでください。</li> </ul>	7・20 40
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体の顔認識カメラ、LEDランプ面が汚れていませんか。</li> <li>➔ 顔認識カメラ、LEDランプ面のお手入れを行ってください。</li> </ul>	68
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 顔情報データベースの登録件数が20,000件を超えていませんか。</li> <li>➔ 顔情報データベースの登録件数が20,000件を超えると、顔認証速度の低下などの影響が出る場合があります。未使用の登録者情報を削除するなど、顔情報データベースの登録件数を20,000件以下にしてください。</li> <li>設定項目: インテリジェント分析➔顔検知➔顔データベース</li> </ul>	62・69

※ 上記解決方法を行っても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店かお客さまご相談窓口にご相談ください。お客さまご相談窓口➔71ページ

- 当社ホームページに掲載の「よくあるご質問」もあわせてご覧ください。  
サポート ▶ よくあるご質問 ▶ その他業務用製品  
URL: 「 <https://aqua-has.com/support/faq/> 」



QRコードはこちら

故障かな？と思ったとき

# お手入れのしかた

## ⚠ 警告

- お手入れの際は、本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。故障・火災・感電の原因となります。

## ⚠ 注意

- シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤・アルカリ性の洗剤などを使用してお手入れをしないでください。本製品の故障・劣化の原因となります。
- 本体のすき間や穴に異物を入れないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 体表面温度測定カメラ（サーマルカメラ）に直接触らないでください。故障・劣化の原因となります。

## お願い

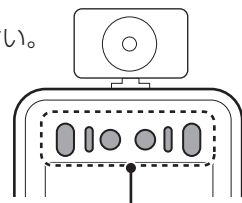
- お手入れを行うときはACアダプターをコンセントから抜き、電源を切って行ってください。接続環境や使用状況により電源が切れない場合は、お手入れ中に外部装置が誤動作しないように注意してお手入れを行ってください。

## 本体

- 本体表面（モニター画面以外）の汚れは、水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取ってください。
- ※ 本体底部のスピーカー穴から水分が入らないように注意してお手入れを行ってください。

## モニター画面

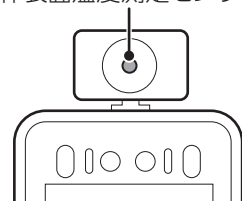
- 眼鏡用のクリーニングクロスなど乾いた柔らかい布を使用し、モニター表面を同じ方向にゆっくり拭いてください。
- 落ちにくい汚れは、水を含ませたクリーニングクロスなどの柔らかい布を固くしぼり、ゆっくり拭き取ってください。水拭きしたあとは水滴が残らないようから拭きしてください。
- モニター表面の顔認識カメラ、LEDランプ面も同様にお手入れを行ってください。
- ※ 強くこすったり、爪で引っかいたりしないでください。モニター表面に傷が付くおそれがあります。
- ※ 顔認識カメラ部分などに汚れが残っていると、誤検知・誤動作の原因となります。



顔認識カメラ、LEDランプ面

## 体表面温度測定センサー

- カメラ用ブローヤ・ブラシなどを使用し、顔認識カメラの表面に付着したホコリをゆっくり吹き飛ばしてください。
- ※ 顔認識カメラは直接触らないでください。故障したり、カメラの角度が変わり誤検知・誤動作の原因となります。付着したホコリや汚れや取れない場合は、お買い上げの販売店かお客さまご相談窓口にご相談ください。お客さまご相談窓口➡71ページ



体表面温度測定センサー

## お手入れのあとは

- ACアダプターをコンセントにさし込み、本製品の電源を入れてください。
- 電源投入後は、以下の項目をご確認ください。
  - ・本製品の認識機能（顔認証・体表面温度検知・マスク着用有無の検知など）が正常に行われているか確認する。
  - ・本製品と外部装置が正常に連動、動作するか確認する。
  - ・本製品が正常にネットワークに接続されているか、ウェブブラウザで接続確認する。
- ※ 本製品や動作に異常を感じたら、お買い上げの販売店かお客さまご相談窓口にご相談ください。お客さまご相談窓口➡71ページ



# 仕様

仕様

品番	CTS-NY8R / CTS-NY8W	
電源供給	DC12V, 3.33A	
消費電力	20W以下	
温度測定範囲	30 ~ 45℃、精度：±0.3℃（黒体校正無し）	
体表面温度検出距離	0.3 ~ 0.6m	
推奨される顔認識範囲	距離：0.5 ~ 2.0m / 高さ：1.2 ~ 2.2m（*1）	
顔認識時間	1秒未満、顔認識精度：99.7%以上	
顔情報データベース容量	20,000件以上（*2）	
稼働温度範囲	15℃ ~ 35℃	
湿度	5 ~ 90%	
タブレット端末サイズ	幅 144mm x 高さ 273mm x 奥行き 25mm	
ディスプレイサイズ	8インチ	
重さ	CTS-NY8R (ラックマウント)	2.5kg ※ブラケット、固定リングを含む
	CTS-NY8W (ウォールマウント)	2.5kg ※壁掛け金具セットを含む
LANケーブル長さ	1.0m	
付属品	CTS-NY8R (ラックマウント)	ACアダプター、電源コード、ブラケット、固定リング、LANケーブル、アタッチメント(7個)、六角レンチ
	CTS-NY8W (ウォールマウント)	ACアダプター、電源コード、壁掛け金具セット、LANケーブル、アタッチメント(7個)、六角レンチ

\*1…推奨値となりますので、実際の設置環境で検証を行ってください。

\*2…本製品の推奨上限登録件数は20,000件です。登録件数が20,000件を超えると、顔認証速度の低下などの影響が出る場合があります。

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。



# 保証とアフターサービス

## 保証書 (取扱説明書裏面)

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店で発行しますので、保証書の「販売店・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## 修理サービス

使用中に具合が悪くなったときは、上記の「故障かな?と思ったとき」に従って調べてください。直らないときは、内部機構をさわらずに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は、保証書の記載内容により販売店が修理いたします。
- 保証期間内であっても、お客さまの誤使用で故障した場合は、有料修理となります。
- 保証期間がすぎているときは、修理により機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理となります。

## 補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後、2年間**です。

・補修用性能部品 … その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるときは

保証期間をすぎてもご要望により有料で修理させていただきます。修理料金は、以下の内容で構成されています。

技術料	診断、修理、調整、点検などの費用です。
部品代	修理により使用した部品および補助材料代です。
出張費	ご依頼により技術者を派遣する費用です。

まずはお買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談できない場合は、71ページの相談窓口にお問い合わせください。

## 「顔認証機能付きサーモセンサーシステム」の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・ACアダプター・電源コードが異常に熱くなる。
- 電源プラグ・ACアダプター・電源コードに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店へ点検・修理をご相談ください。

# お客さまご相談窓口

## お客さまご相談窓口



### ■まずはお買い上げの販売店へ…

本製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

### 商品についての全般的なご相談 〈アクア 株式会社〉

受付時間：平日9：00～12：00、13：00～17：30  
(年末年始は休み)

総合相談窓口

TEL  0120-221-251  
FAX  0570-012-252 (有料)

お客さま  
ご相談  
窓口

### お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

#### <利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

#### <業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ <http://aqua-has.com/> をご覧ください。

アクア 株式会社

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号

NY8-MN02